

令和5年版 消防年報



薩摩川内市消防局マスコットキャラクター
ユリハタ君

鹿児島県
薩摩川内市消防局



薩摩川内市民憲章

美しい自然と 古い歴史を誇りとする
わたしたち薩摩川内市民は

やさしくすれば 心はかよう
はなしをすれば だれでもわかる
考えさえすれば みちはひらける
やりさえすれば かならずできる

という信条をもって

明るく豊かなまちをつくります



市木 クロガネモチ



市花 カノコユリ



市鳥 メジロ



市魚(川) アユ



市魚(海) キビナゴ

は し が き

この年報は、薩摩川内市消防局の現勢と令和5年中における消防業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考とするとともに消防事情を広く一般に紹介するために編集したものです。

なお、この年報の統計資料は、原則として暦年をもって表し、予算に関係のある事項については、会計年度で作成し、それ以外のものについては当該表にそれぞれ記載した年月日を表してあります。

令和6年6月

薩摩川内市消防局

目 次

I.総括

1. 薩摩川内市消防局管内の位置と地勢 1
2. 消防本部・署の沿革 2

II.総務

1. 薩摩川内市消防局の組織 6
2. 消防本部・署の事務分掌 7
3. 消防庁舎の概要 10
4. 消防大学校等入校・各種研修参加状況 13
5. 職員の階級別年齢状況 14
6. 職員の勤続年数状況 15
7. 職員の配置状況 16
8. 薩摩川内市消防局相互応援協定 17
9. 予算の比較 18
10. 消防費と人口の比較 18
11. 消防費の内訳 18
12. 消防職員特殊技能その他資格取得状況 19

III.予防

1. 地域別火災発生状況 20
2. 月別火災発生状況 21
3. 時間別火災発生状況 22
4. 原因別火災発生状況 22
5. 火災発生件数の推移 23
6. 火災損害見積額の推移 23
7. 防火対象物現況 24
8. 建築同意事務処理状況 25
9. 防火対象物定期点検報告制度実施状況 26
10. 中高層建築物一覧表 26
11. 諸届出書の処理状況 27
12. 予防査察実施状況 28
13. 地域別危険物施設現況 29
14. 危険物施設の数量及び類別状況 30
15. 危険物施設の許可等処理状況 31
16. 危険物施設の立入検査実施状況 32

IV.警防

1. 消防水利状況 33
2. 消防車両等の概要 34
3. 無線配備状況 35
4. 気象状況(薩摩川内市消防局本部庁舎屋上) 38

V.救急及び救助

1. 地域別救急出場状況	39
2. 月別救急出場状況	39
3. 年齢区分別搬送人員	40
4. 時間別出場状況	41
5. 曜日別出場状況	41
6. 月別出場状況	41
7. 救急隊員の行った応急処置状況(搬送者のうち)	42
8. 不搬送原因別出場件数	42
9. 救急出場の推移(急病及び交通事故)	43
10. 搬送人員の推移	43
11. 住民に対する応急手当普及啓発活動状況	44
12. CPA患者社会復帰状況	44
13. 事故種別救助活動状況	45
14. 事故種別出場及び活動車両状況	45

VI.消防団及び消防協力団体

1. 薩摩川内市消防団の組織	46
2. 消防団員定数及び実員	47
3. 年齢別消防団員数	47
4. 方面隊別消防団員団員数	47
5. 勤続年数別消防団員数	47
6. 消防団車両の概要	48
7. 小型ポンプの概要	50
8. 消防協力団体	52
9. 特殊施設	54

付録

● 消防本部・署の沿革(川内市消防本部)	55
● 消防本部・署の沿革(川内地区消防組合)	56

I. 総括

1. 薩摩川内市消防局管内の位置と地勢

薩摩川内市は、薩摩半島の北西部に位置し、南は県都鹿児島市といちき串木野市、北は阿久根市に隣接する本土区域と、上甑島、中甑島、下甑島で構成される甑島区域で構成されています。

東シナ海に面した変化に富む白砂青松の海岸線、市街部を悠々と流れる一級河川「川内川」、蘭牟田池をはじめとするみどり豊かな山々や湖、地形の変化の美しい甑島、各地の温泉など、多種多様な自然環境を有しています。

本市が有するこれらの多彩で美しい自然環境は、平成27年3月16日に指定された甑島国立公園をはじめ、川内川流域県立自然公園、蘭牟田池県立自然公園など、広く市民に親しまれています。

この広域に及ぶ当局管内面積は682.92km²です。

消防本部の位置 東経 130° 18'
北緯 31° 49'



2. 消防本部・署の沿革

年	月	概 要
平成16年	10月12日	薩摩川内市が誕生し、薩摩川内市消防局発足
	10月12日	伊豫田輝雄初代消防局長就任
	10月12日	東部消防署祁答院分署運用開始
	11月17日	救急救命士17人となる
平成17年	4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から携帯用無線機15基、空気呼吸器1式、空気呼吸器用ボンベ10本の貸与を受ける
	5月9日	救急救命士18人となる
	6月9日	緊急消防援助隊全国合同訓練参加(静岡県静岡市清水区)～12日
	10月1日	西部消防署高規格救急車等による高度救急業務を開始
	11月4日	東部消防署祁答院分署新庁舎落成式挙行
	11月21日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(沖縄県うるま市)～24日
平成18年	11月24日	救急救命士19人となる
	1月15日	伊豫田輝雄消防局長退任
	1月16日	桑原道男第2代消防局長就任
	2月21日	アステラス製薬株式会社から救急自動車(2B)の寄贈を受ける
	4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器6基、空気呼吸器用ボンベ10本、空気呼吸器用面体40個の貸与を受ける
	5月22日	救急救命士21人となる
	6月1日	「住宅用火災報知機」の設置が義務づけられる
	7月22日	鹿児島県北部豪雨災害(消防職員・消防団員 延 1,252 人出場)～23日
	10月20日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(北九州市)～21日
	12月7日	総務省消防庁主催「第9回全国消防広報コンクール」広報紙部門優秀賞受賞
平成19年	1月23日	鹿児島県防災航空隊と合同練習
	4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器6基、空気呼吸器用ボンベ10本、空気呼吸器面体40個、液晶プロジェクター1台、防護マスクフィルター532個の貸与を受ける
	5月14日	救急救命士24人となる
	5月16日	鹿児島県防災航空隊と合同練習
平成20年	10月12日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(大分県中津市)～13日
	1月14日	桑原道男消防局長退任
	1月15日	上村健一第3代消防局長就任
	4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器用ボンベ10本、空気呼吸器面体10個、エアータン32基、放射性廃棄物用ドラム缶1個、サーベイメーター用アルミ収納ケース4個、防護マスクフィルター794個、ポケット線量計3個の貸与を受ける
	4月28日	救急救命士26人となる
	9月12日	鹿児島県防災航空隊と合同訓練
平成21年	11月21日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(長崎県佐世保市)～22日
	4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器6基、空気呼吸器面体30個、空気呼吸器用ボンベ10本、エアータン5基、防護マスク195個、防護マスクフィルター1000個、防護服(アノラック型、タイベック型)50着、液晶プロジェクター1台、DVDプレーヤー5台、液晶プロジェクターケース1個、ポケット線量計20個、携帯無線機用スピーカーマイク15個の貸与を受ける
	4月14日	救急救命士28人となる
	8月26日	鹿児島県防災航空隊と合同訓練
	10月9日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(佐賀県佐賀市)～10日
平成22年	11月16日	東部消防署 高規格救急車を更新
	2月15日	中央消防署下甕分駐所新庁舎運用開始
	3月31日	中央消防署南部分署 大型高所放水車を更新
	4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器2基、空気呼吸器面体30個、空気呼吸器用ボンベ10本、デジタルカメラ1台、防護マスクフィルター

2. 消防本部・署の沿革

年 月	概 要
	100 個の貸与を受ける
5 月 1 日	救急救命士29人となる
6 月 4 日	緊急消防援助隊全国合同訓練参加(愛知県知多市)～5日
8 月 30 日	西部消防署 大型化学消防車を更新
10 月 8 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練を実施(薩摩川内市)～9日
11 月 10 日	支援車Ⅰ型を総務省消防庁から緊急消防援助隊登録車両として無償貸与を受ける
11 月 29 日	東部消防署 水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成23年 2 月 24 日	西部消防署 泡原液搬送車を更新
3 月 14 日～23 日	平成23年3月11日14時46分に発生した東日本大震災「東北地方太平洋沖地震」における災害対応に、緊急消防援助隊鹿児島県隊として総務省消防庁から派遣要請を受け、延べ20人出場(派遣先:宮城県石巻市)
4 月 1 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器2基、空気呼吸器用ボンベ10本、容器呼吸器面体30個、デジタルビデオカメラ1台、ノートパソコン1台、化学防護服2着、防護マスクフィルター600個、防護服(アノラック型)200着、防護服(タイベック型)200着、チオックス手袋40ダース・綿手40ダース、防護靴80足、オーバーシューズ200足の貸与を受ける
4 月 1 日	簡易携帯・IP電話位置情報システムの運用開始
4 月 1 日	総務省消防庁無償貸与「緊急消防援助隊活動資機材」個人線量計15個、線量率計(γ線・X線)4台、線量率計(中性子用)1台
5 月 1 日	救急救命士30人となる
10 月 1 日	祁答院分署救急車に高度救命処置用資機材を搭載、救急救命士4人を配置し、運用開始
11 月 4 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(宮崎県宮崎市)～5日
12 月 16 日	鹿児島県ドクターヘリ運用開始
平成24年 1 月 30 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器2基、空気呼吸器用ボンベ5本、空気呼吸器面体2個、化学防護服2着の貸与を受ける
3 月 2 日	下甕分駐所 救急車を更新
3 月 9 日	西部消防署 水槽付消防ポンプ自動車を更新
3 月 13 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から防護マスクフィルター1430個、GM防護マスク85個の貸与を受ける
4 月 1 日	総務省消防庁無償貸与「緊急消防援助隊活動資機材」救助用破壊器具(バッテリー式)1式受領
5 月 1 日	救急救命士32人となる
6 月 27 日	総務省消防庁無償貸与「緊急消防援助隊支援資機材」エアーテント1式受領
10 月 1 日	総務省消防庁無償貸与「緊急消防援助隊活動資機材」個人線量計6個、線量率系(γ線・X線)2台、表面汚染調査計1台受領
11 月 17 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(熊本県八代市)～18日
11 月 28 日	燃料補給車配備(総務省消防庁無償貸与・緊急消防援助隊登録車両)
平成25年 2 月 18 日	中央消防署 はしご付消防ポンプ自動車を更新(先端屈折型30m級、四輪操舵式導入)
3 月 22 日	総務省消防庁無償貸与 重機搬送車(クレーン付き)・建設機械(5トン重機 アタッチメント付)
3 月 25 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から、防護服(タイベック型)510着、防護靴40足、オーバーシューズ725足、チオックス手袋34ダース、綿手41ダース、作業帽142袋、エプコテープ10ダース、ポケット線量計(PDM-222V 型)250個、サーベイメータ(シンチレーション式 TCS-172B)2台の貸与を受ける
8 月 16 日	京都府福知山市花火大会露店爆発事故を教訓に、露店防火指導査察をはじめ。
11 月 25 日	消防団120年、自治体消防65年記念大会へ参加
平成26年 2 月 20 日	中央消防署 高規格救急車を更新
3 月 12 日	上甕分駐所 救急車を更新
3 月 31 日	上村健一消防局長退任
4 月 1 日	新盛和久第4代消防局長就任

2. 消防本部・署の沿革

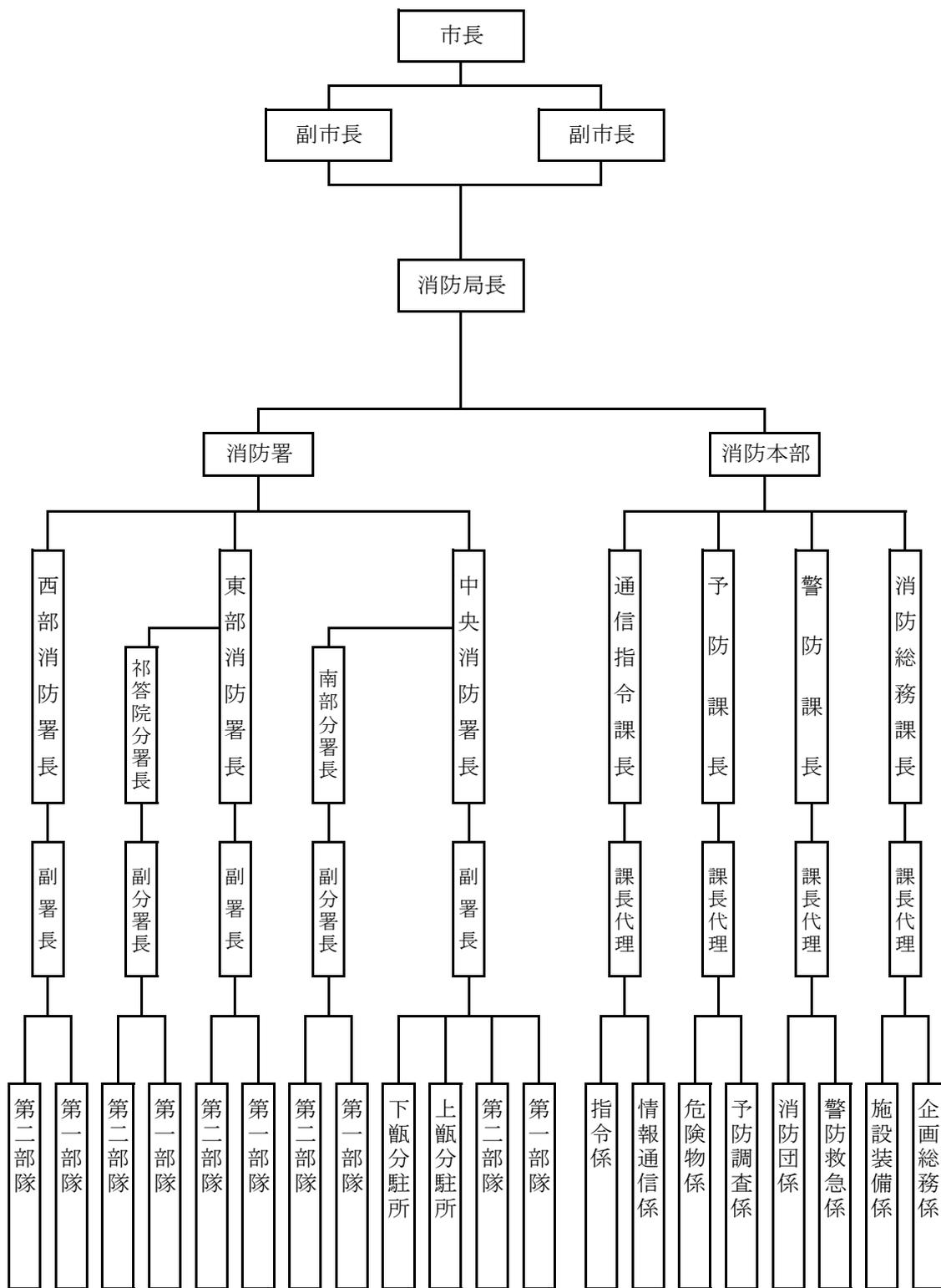
年 月	概 要
	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から、原子力災害活動用防護服一式、キャビネット2基、GM管サーベイメータ(TCS-146B)2台、ポケット線量計52個の貸与を受ける
平成27年	7月18日 消防本部・中央消防署新庁舎運用開始 高機能消防指令センター運用開始
	7月22日 新旧消防庁舎にて閉庁式及び開庁式を開催
	7月26日 薩摩川内市消防局消防本部・中央消防署落成式を開催
	8月1日 防災研修センター本格運用開始
	11月6日 消防総務課 連絡車を更新 予防課 予防指導車を更新
	11月22日 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(福岡県久留米市)～23日
	3月17日 南部分署 水槽付消防ポンプ自動車を更新
	5月7日 救急救命士36人となる
	5月29日 口永良部島新岳の爆発的噴火が発生し、鹿児島県消防救助技術指導会が競技途中で中止となる
	7月4日 消防救急デジタル無線仮運用開始
	8月18日 コーアガスグループから消防指令車の寄贈を受ける
	9月16日 防災研修センターの利用者1万人達成
	11月7日 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(大分県佐伯市) ～8日
	11月11日 緊急消防援助隊全国合同訓練参加(千葉県市原市) ～16日
	12月10日 原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県からGM管式サーベイメータ3台の貸与を受ける
平成28年	1月19日 消防救急デジタル無線の本格運用並びに運用開始式を開催
	3月23日 予防課 火災原因調査車を更新
	3月24日 警防課 本部指揮隊車を更新
	4月1日 消防局150人体制となり、上甕分駐所並びに下甕分駐所に職員をそれぞれ1人増員し、各分駐所6人体制となる
	4月15日～28日 4月14日21時26分に発生した震度7の地震を前震とする「平成28年熊本地震」における災害対応に、緊急消防援助隊鹿児島県隊として延べ31人出場する
	4月27日 救急救命士37人となる
	6月1日 株式会社大和から小型バスの寄贈を受ける
	11月5日 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(長崎県雲仙市) ～6日
平成29年	12月13日 海上保安庁と合同潜水訓練を実施する
	1月7日 消防出初式において木遣り歌を初披露
	2月20日 原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から、空気ボンベ20本、原子力災害活動用防護服一式の貸与を受ける
	3月17日 中央消防署 高規格救急車を更新
	4月1日 消防局154人体制となる
	4月1日 横浜市消防局に職員1人を派遣する
	5月1日 救急救命士39人となる
平成30年	1月7日 消防出初式においてはしご乗りを初披露
	1月31日 下甕分駐所 連絡車を更新
	2月28日 東部消防署、西部消防署 指揮車を更新
	3月28日 中央消防署 水槽付消防ポンプ自動車を更新
	4月1日 消防局157人体制となる
	4月1日 昨年度に引き続き横浜市消防局に職員1人を派遣する
	4月17日 株式会社サンテックから無人航空機(ドローン3機)の寄贈を受ける
	5月1日 救急救命士43人となる
平成31年	1月12日 消防出初式において薩摩川内火けし保存会(木遣り隊、はしご隊、纏隊、腕用ポンプ隊)による合同演技を披露
	1月31日 消防総務課 連絡車を更新

2. 消防本部・署の沿革

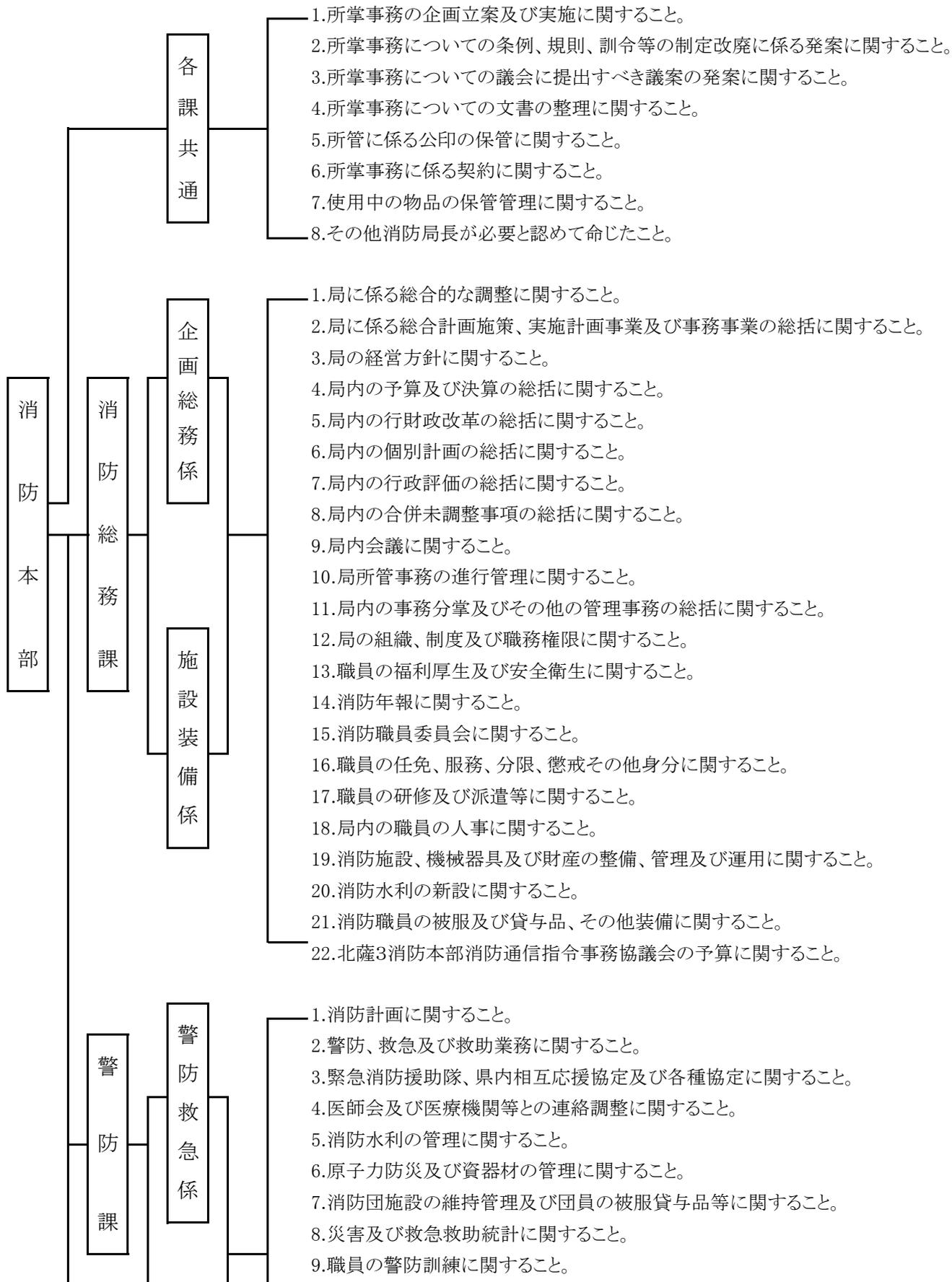
年	月	概 要
平成31年	2月12日	中央消防署 指揮車を更新
	3月22日	下甌分駐所職員待機宿舎(借上型住宅)完成
	3月28日	消防総務課 資機材搬送車を更新
	4月1日	消防局 155 人体制となる
令和元年	4月1日	横浜市消防局に職員1人を派遣する
	5月23日	伊藤二作氏から高規格救急車及び救急資機材の購入費として寄附を受け、東部消防署高規格救急車を更新
	10月1日	鹿児島県消防長会事務局(鹿児島市消防局)に職員1人を派遣する
令和2年	11月18日	株式会社鳳荘から小型貨物自動車の寄贈を受ける
	1月27日	南部分署救急消毒室を新築整備
	2月3日	警防課 連絡車を更新
	3月7日	川野眼科から無人航空機(ドローン1機)の寄贈を受ける
	3月31日	新盛和久消防局長退任
	4月1日	中村真第5代消防局長就任 消防局 156 人体制となる
	4月1日	横浜市消防局に職員1人を派遣する
	4月1日	機能別消防団が発足 消防団員65人に辞令を交付
	5月20日	救急救命士 45 人となる
	9月25日	湯浦石油株式会社から寄附を受け、各種講習会用プロジェクター及び接地抵抗計を購入する
令和3年	3月17日	伊藤二作氏から救急資機材の購入費として寄附を受ける。(令和3年度購入予定)
	3月23日	成松一枝氏から寄附を受け、訓練等用鉄棒の設置及び可搬型組立式消防用水槽を購入する
	4月1日	横浜市消防局に職員1人を派遣する
	4月1日	北薩3消防本部消防通信指令事務協議会事務局に職員2名を派遣する
	9月16日	伊藤二作氏からの寄附により、救急救命士訓練資機材等を購入する
	10月1日	川薩地区生コンクリート協同組合及び甌島地区生コンクリート協同組合と災害時における消防用水の確保に関する協定を締結する
令和4年	1月18日	薩摩川内市消防局防火衣一式を更新
	3月18日	祁答院分署 水槽付消防ポンプ自動車を更新
	3月31日	中村真消防局長退任
	4月1日	佐多孝一第6代消防局長就任 消防局154人体制となる
	4月1日	横浜市消防局に職員1人を派遣する
	6月8日	神奈川県横浜市で開催の第45回全国消防職員意見発表会で鶴永淳之介消防士長が最優秀賞を受賞
	11月12日	緊急消防援助隊全国合同訓練参加(静岡県静岡市)～13日
	11月26日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(沖縄県 与那原町) ～27日
令和5年	12月28日	中央消防署 救助工作車を更新
	3月6日	中央消防署 消防ポンプ自動車を更新
	3月31日	佐多孝一消防局長退任
	4月1日	石原浩之第7代消防局長就任 消防局156人体制となる
	4月1日	横浜市消防局に職員1人を派遣する
令和6年	11月25日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(福岡県若宮市)～26日
	2月26日	西部消防署 外壁塗装工事実施
	2月27日	南部分署 高規格救急自動車を更新(県内初となる電動ストレッチャー装備)
	3月15日	東部消防署 女性用宿直室完成
	4月1日	横浜市消防局へ職員1人を派遣する
	4月18日	下甌分駐所 高規格救急自動車を更新

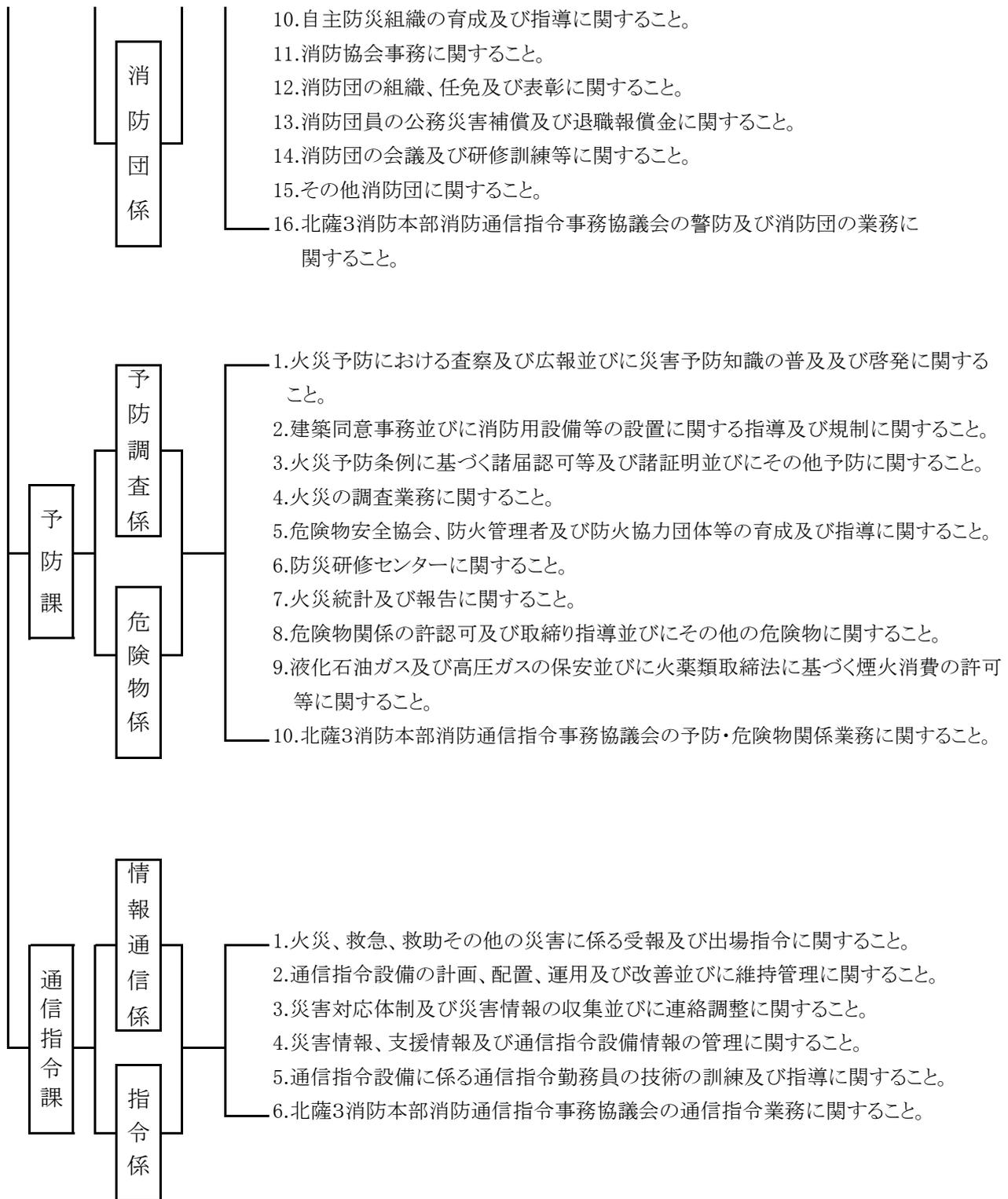
II. 総務

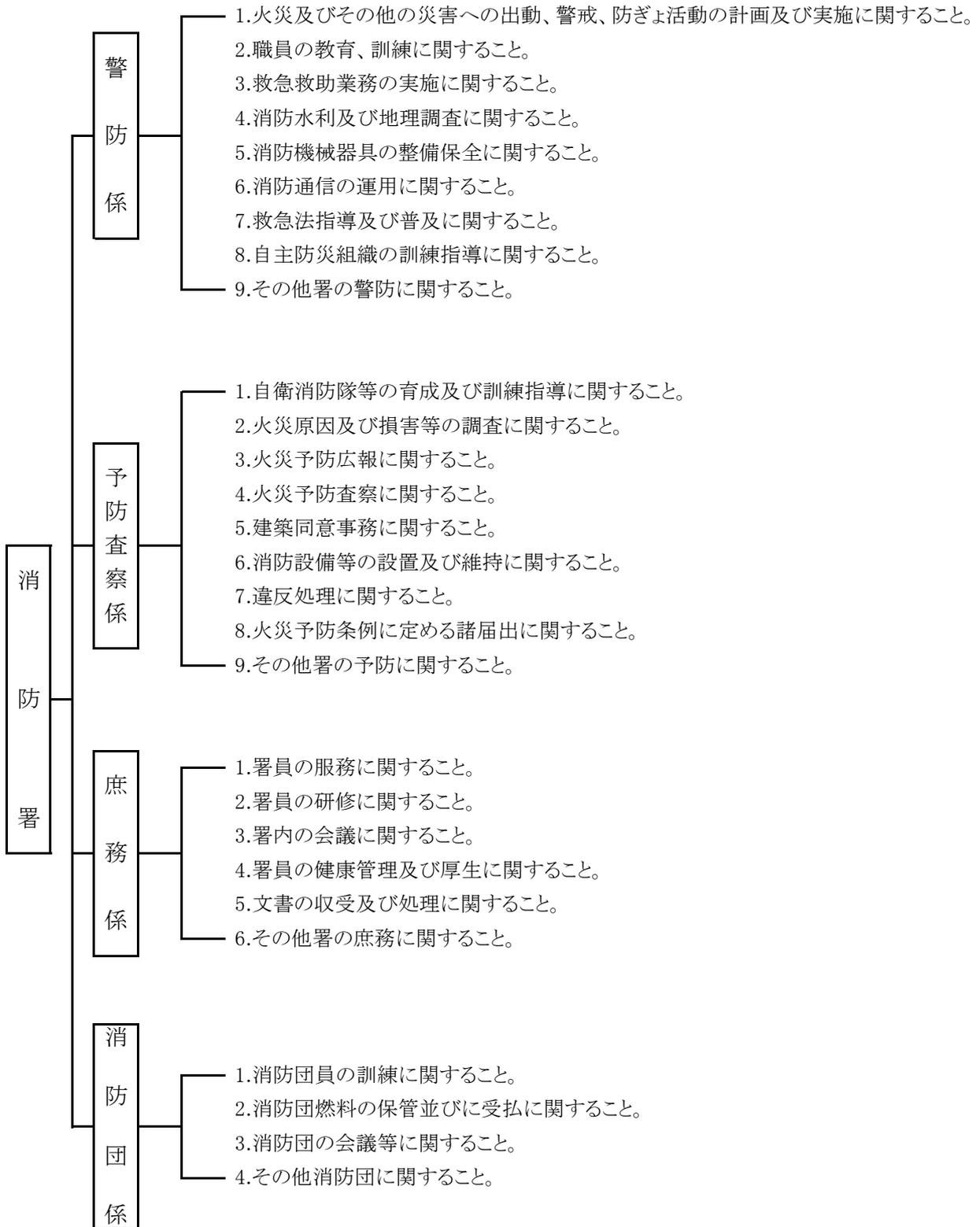
1. 薩摩川内市消防局の組織



2. 消防本部・署の事務分掌





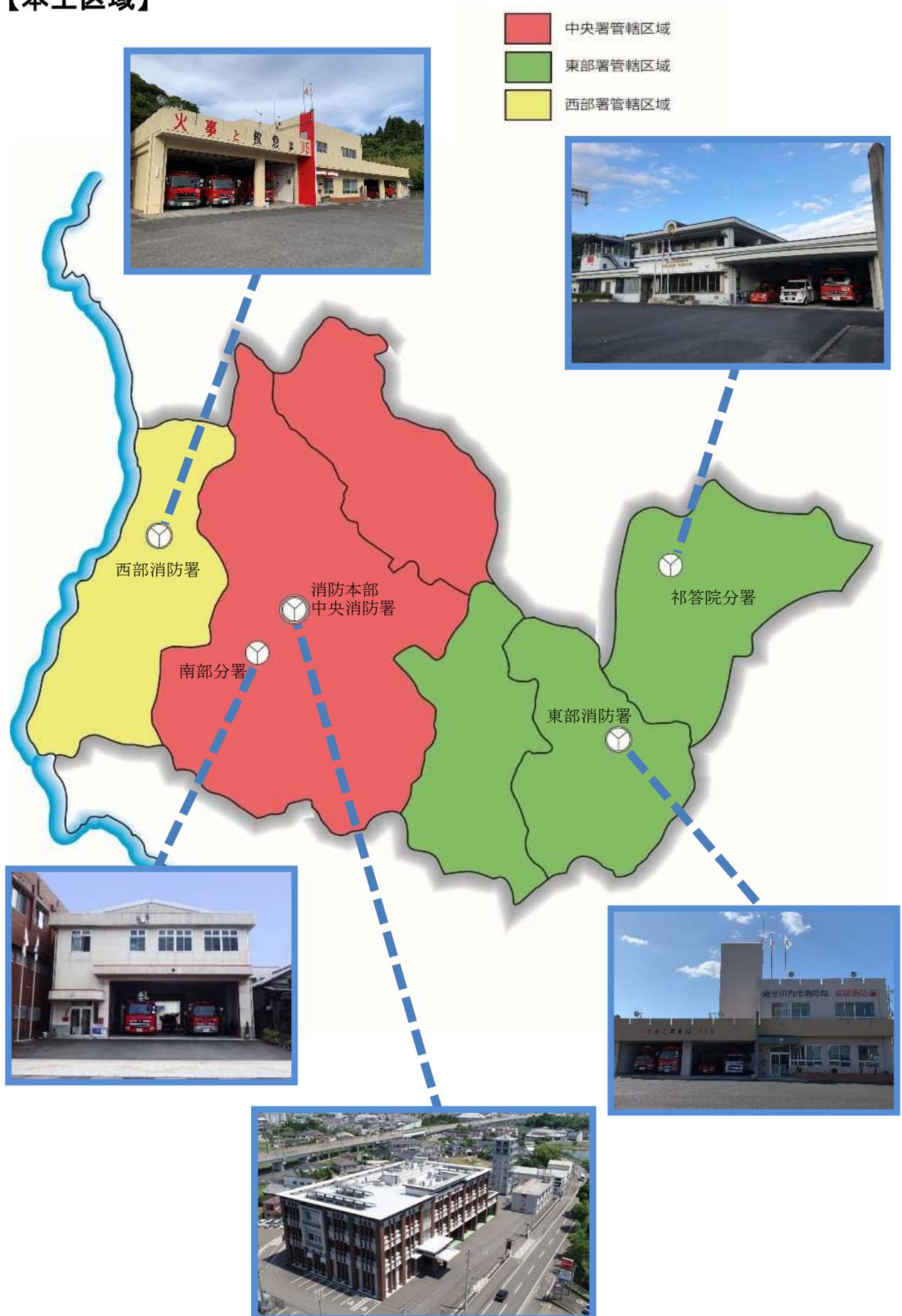


3. 消防庁舎の概要

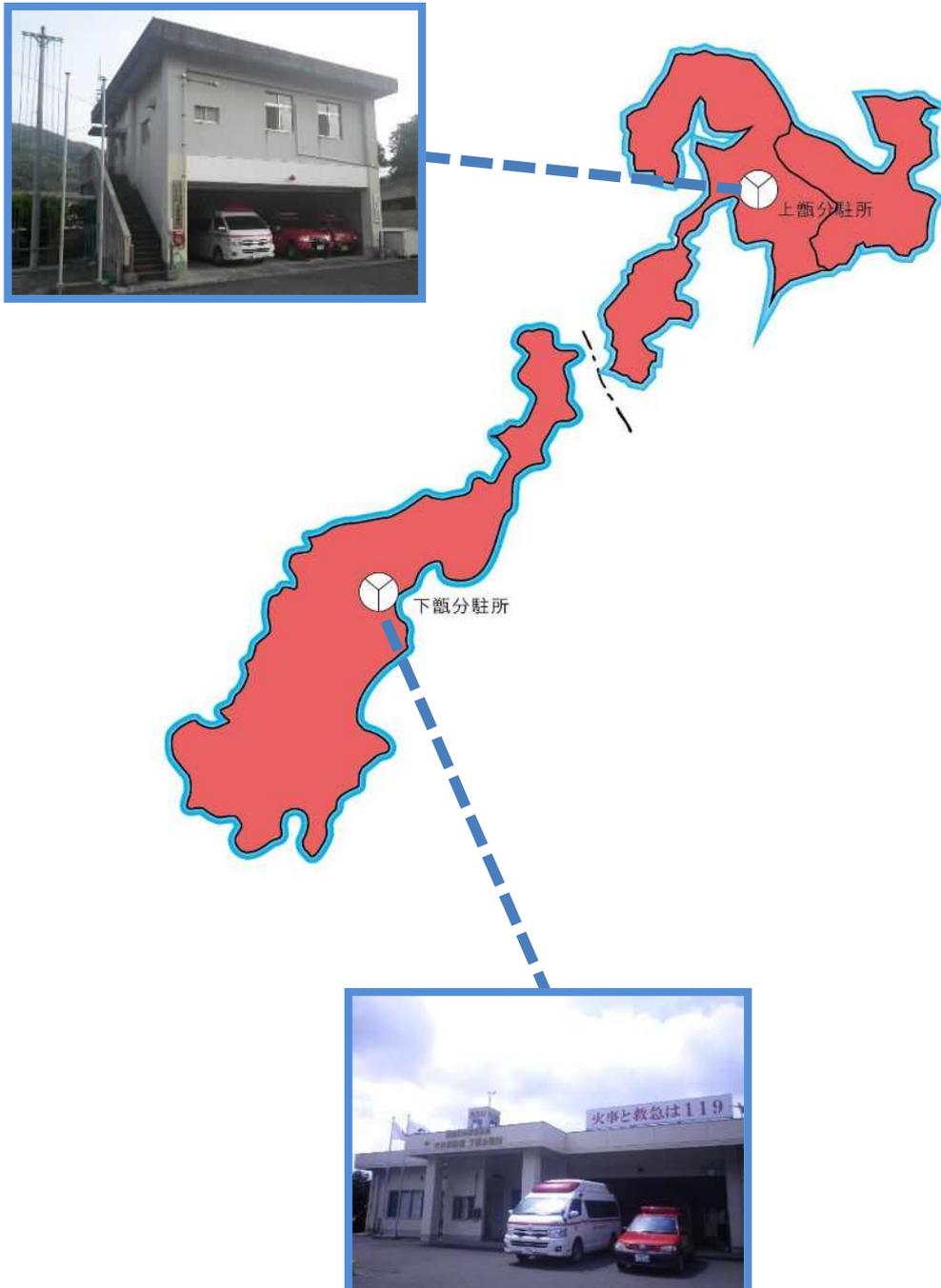
令和6年4月1日現在

区分 名称	所在地	敷地面積 (m ²)	構造	延面積 (m ²)	完成年月日	電話
消防本部・ 中央消防署	薩摩川内市中郷町 5031番地1	9,158	鉄筋コンクリート 造 3 階 建	4376.84	H 26. 3. 14	0996- 22-0119 (代表)
訓練主塔			鉄筋コンクリート 造 7 階 建	258.36	H 26. 7. 25	0996- 22-0124 (消防総務課)
訓練副塔			鉄筋コンクリート 造 2 階 建	337.10	H 26. 5. 30	0996- 22-0125 (警防課)
訓練補助塔			鉄筋コンクリート 造 2 階 建	56.00	H 26. 7. 25	0996- 22-0135 (予防課)
附属車庫 ・駐輪場			アルミ製	220.12	H 26. 6. 4	0996- 22-0143 (中央消防署)
南部分署	〃 若松町 8番20号	565	鉄骨造 2 階 建	560.00	H 4. 3. 26	0996- 23-1360
南部分署 消毒室			木造平屋	18.24	R 2. 1. 27	
上甌分駐所	〃 上甌町中甌 481番地1	140	鉄筋コンクリート 造 2 階 建	164.00	S 57. 2. 24	09969- 2-0377
上甌待機宿舎 1号・2号	〃 〃 490番地5	227	〃	124.00	S 57. 2. 23	
上甌待機宿舎 3号	〃 〃 728番地	256	木造平屋	70.00	H 12. 3. 10	
下甌分駐所	〃 下甌町長浜 913番地3	813	鉄筋コンクリート 造 平屋 建	199.00	H 22. 2. 15	09969- 5-1057
下甌待機宿舎 3号	〃 〃 187番地2	205	木造平屋	70.00	H 12. 3. 10	
下甌待機宿舎 4号	〃 〃 663番地4	※教職員住宅地 の一部を使用	コンクリートブロック造 平屋 建	50.00	S 48. 1. 20	
東部消防署	〃 入来町浦之名 727番地2	5,008	鉄筋コンクリート 造 2 階 建 (一部5階)	543.00	S 58. 3. 18	0996- 44-3390
東部消防署 消毒室			木造平屋	19.00	H 19.12. 7	
東部消防署 補助車庫			鉄骨造 1 階 建	57.00	H 22.12. 14	
東部消防署 女性用宿直室			木造平屋	26.91	R6. 3. 15	
祁答院分署	〃 祁答院町下手 43番地1	1,378	鉄骨造 2 階 建	423.00	H 17.10. 28	0996- 21-8620
西部消防署	〃 水引町 3397番地1	3,004	鉄筋コンクリート 造 2 階 建 (一部塔屋)	835.00	S 59. 3. 26	0996- 26-3524
西部消防署 消毒室			木造平屋	17.00	H 22. 3. 9	

【本土区域】



【甌島区域】



4. 消防大学校等入校・各種研修参加状況

令和5年4月1日～令和6年3月31日

機 関 名	研 修 科 目	研 修 期 間	人 員 (人)
消 防 大 学 校	第7回査察業務マネジメントコース	令和5年5月25日 ～ 令和5年5月31日	1
	消防大学校特別講習	令和5年4月21日	1
鹿 児 島 県 消 防 学 校	第86期初任教育	令和5年4月5日 ～ 令和5年9月15日	4
	第4期上級幹部科	令和5年4月18日 ～ 令和5年4月20日	1
	第28期救助科	令和5年10月2日 ～ 令和5年10月31日	3
	第18期火災調査科	令和5年11月8日 ～ 令和5年11月22日	2
	第23期初級幹部科	令和5年12月11日 ～ 令和5年12月22日	2
	第15期予防査察科	令和6年1月9日 ～ 令和6年1月19日	2
	第30期救急科	令和6年1月25日 ～ 令和6年3月19日	4
救 急 振 興 財 団	第42期救急救命士新規養成研修	令和5年8月31日 ～ 令和6年3月11日	1
川 内 市 医 師 会 立 院 市 民 病 院	救急救命士の再教育病院実習	令和5年10月1日 ～ 令和6年3月31日	35
公 益 財 団 法 人 安 全 衛 生 技 術 試 験 協 会	潜水士免許試験	令和5年8月27日	4
公 益 社 団 法 人 鹿 児 島 県 労 働 基 準 協 会	小型移動式クレーン技能講習	令和5年7月10日 ～ 令和5年7月12日	3
	玉掛け技能講習	令和5年9月19日 ～ 令和5年9月21日	3
公 益 財 団 法 人 日 本 無 線 協 会	第三級陸上特殊無線技士講習	令和5年6月15日	2
	主任無線従事者講習	令和5年6月23日・25日、令和6年1月13日	3
鹿 児 島 県 消 防 長 会	合同消防実務研修	令和5年10月13日	3
九 州 消 防 長 会	九州地区予防実務	令和6年1月15日 ～ 令和6年1月26日	1
	九州地区大規模災害対応実務研修会	令和6年3月4日 ～ 令和6年3月8日	1
薩 摩 川 内 地 区 安 全 運 転 管 理 協 議 会	安全運転管理者等の法定講習	令和5年10月25日・26日	3

5. 職員の階級別年齢状況

令和6年4月1日現在(単位:人)

階級 年齢	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	計
18							2		2
19							3		3
20							5		5
21							8		8
22							7		7
23							3		3
24									
25						2	4		6
26						2	5		7
27						10			10
28						3			3
29					2				2
30					3	1			4
31					1				1
32					5				5
33					1	1			2
34					2			1	3
35					2				2
36					4				4
37				1	3	1			5
38				6	2				8
39				2	1				3
40				2					2
41				1	1				2
42				2					2
43				2					2
44				3					3
45				5	1				6
46			3	2					5
47			3	3	1				7
48			2						2
49			4	1					5
50		1	1						2
51			3						3
52			2						2
53			1						1
54			1						1
55		1	2						3
56		1	2					1	4
57		1	1						2
58		1	1						2
59	1	1	5						7
60				1					1
合計	1	6	31	31	29	20	37	2	157
平均年齢	59.0	55.8	52.2	43.0	34.9	27.8	22.0	45.0	37.1

6. 職員の勤続年数状況

令和6年4月1日現在(単位:人)

階級 年数	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	計
1年未満							10		10
1～2							6		6
2～3							4		4
3～4							6		6
4～5						1	7		8
5～6						1	3		4
6～7						4	1		5
7～8						6			6
8～9					2	3			5
9～10						3			3
10～11					2	1			3
11～12					3				3
12～13					3				3
13～14					3				3
14～15									
15～16					3				3
16～17				3	3	1		1	8
17～18				1	5				6
18～19					1				1
19～20				5	1				6
20～21			1	3					4
21～22				1	1				2
22～23				2					2
23～24									
24～25				5					5
25～26			2	3					5
26～27				3					3
27～28				2	2				4
28～29			3	2					5
29～30			4						4
30～31			3						3
31～32		1	6						7
32～33									
33～34			2						2
34～35								1	1
35年以上	1	5	10	1					17
合計	1	6	31	31	29	20	37	2	157
平均年数	41.0	37.2	32.0	22.9	15.0	7.6	2.2	25.0	17.1

7. 職員の配置状況

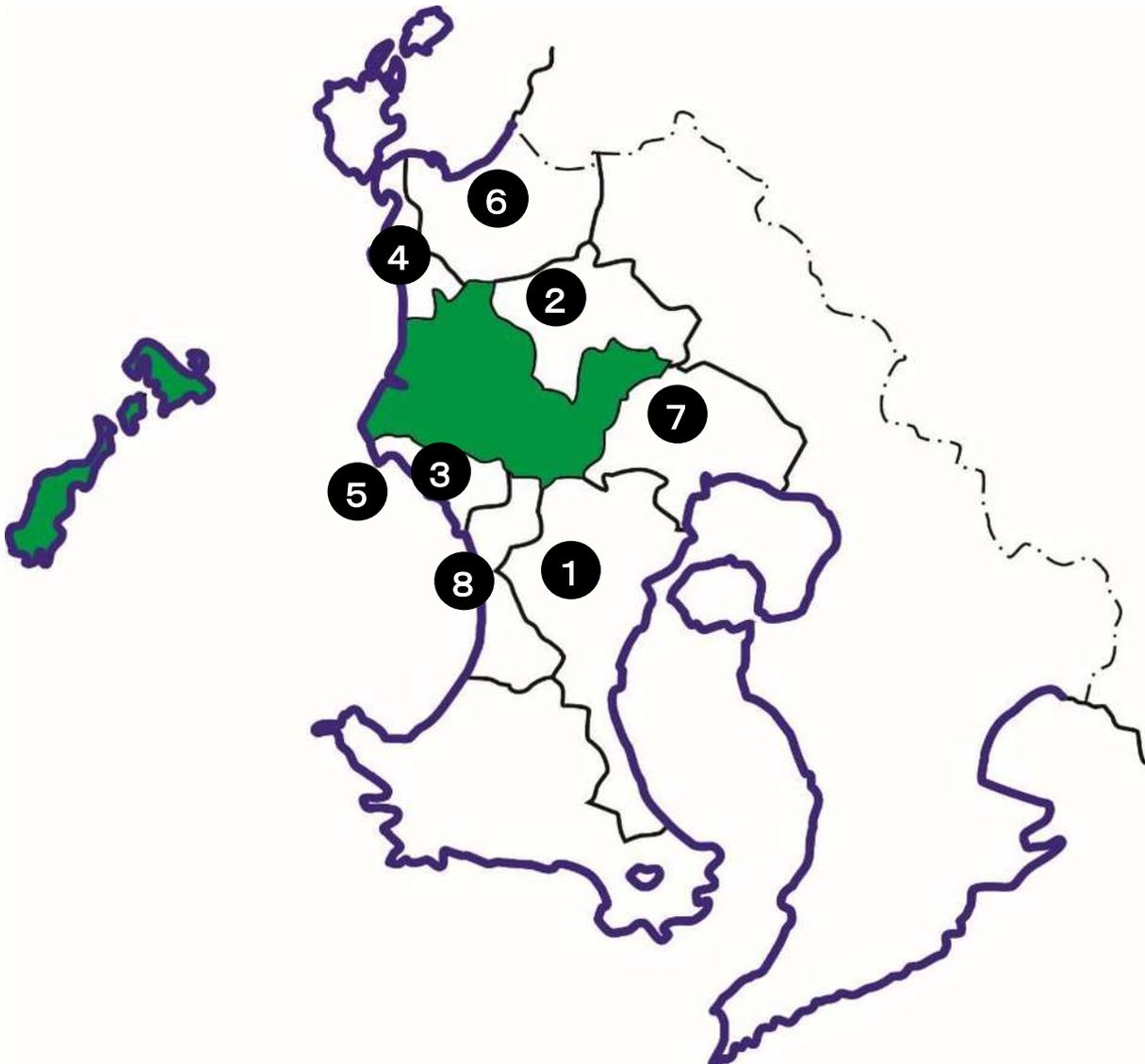
令和6年4月1日現在(単位:人)
※ 再任用職員を除く

区 分 所 属		計	消 防 職 員								
			消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	
局 長		1	1								
消	消防総務課	課 長	1								1
		専 門 職	1			1					
		課 長 代 理	1			1					
		企 画 総 務 係	4				2		1		1
		施 設 装 備 係	2			1	1				
		小 計	9			3	3		1		2
防	警防課	課 長	1		1						
		課 長 代 理	1			1					
		主 幹	2			1	1				
		警 防 救 急 係	1					1			
		消 防 団 係	1				1				
		小 計	6		1	2	2	1			
本	予防課	課 長	1		1						
		課 長 代 理	1			1					
		予 防 調 査 係	2			1	1				
		危 険 物 係	1				1				
		小 計	5		1	2	2				
部	通信指令課	課 長	1		1						
		課 長 代 理	1			1					
		主 幹	2			2					
		情 報 通 信 係	2				2				
		指 令 係	1					1			
		小 計	7		1	3	2	1			
計		27		3	10	9	2	1		2	
消 防 署	中 央 消 防 署	43		1	5	8	9	4	16		
	南 部 分 署	21			5	3	4	4	5		
	上 叡 分 駐 所	6				1	3	2			
	下 叡 分 駐 所	6				1	3	2			
	東 部 消 防 署	21		1	4	3	2	4	7		
	祁 答 院 分 署	11			3	3	1	2	2		
	西 部 消 防 署	21		1	4	3	5	1	7		
	計	129		3	21	22	27	19	37		
合 計		157	1	6	31	31	29	20	37	2	

8. 薩摩川内市消防局相互応援協定

令和 6年 4月 1日現在

番号	協 定 先 名	協 定 の 種 類	締 結 年 月 日
①	鹿 児 島 市 消 防 局	消 防 ・ 救 急	H16. 11. 1
②	さ つ ま 町 消 防 本 部	消 防 ・ 救 急	H17. 4. 1
③	い ち き 串 木 野 市 消 防 本 部	消 防 ・ 救 急	H17. 11. 18
④	阿 久 根 地 区 消 防 組 合	消 防 ・ 救 急	H18. 9. 1
⑤	串 木 野 海 上 保 安 部	船 舶 火 災	H16. 10. 12
⑥	出 水 市 消 防 本 部	消 防 ・ 救 急	H18. 10. 1
⑦	始 良 市 消 防 本 部	消 防 ・ 救 急	H22. 3. 23
⑧	日 置 市 消 防 本 部	消 防 ・ 救 急	H17. 11. 18
※	県 下 市 町 村 及 び 消 防 本 部	大 規 模 災 害 等	H18. 10. 25



9. 予算の比較

(単位：千円、%)

年次	一般会計当初予算	消防費	一般会計当初予算に対する割合
令和3年度	52,670,000	2,118,437 〔 1,782,635 〕	4.0% 〔 3.4% 〕
令和4年度	53,470,000	2,079,945 〔 1,911,464 〕	3.9% 〔 3.6% 〕
令和5年度	54,540,000	2,714,790 〔 2,536,870 〕	5.0% 〔 4.7% 〕

※〔 〕は、消防局所管予算

10. 消防費と人口の比較

区分	1世帯あたりの予算	1人あたりの予算
令和5年度一般会計当初予算額	1,154,037 円	582,031 円
うち消防費	44,891 円	22,641 円
うち消防局所管分	41,255 円	20,807 円

※令和5年4月1日現在の人口及び世帯数で算出

11. 消防費の内訳

(単位：千円)

区分		令和5年度当初予算額
消防局所管分	常備消防費	2,192,657
	人件費	1,165,937
	会計年度任用職員(月額)経費	1,646
	報償費	327
	旅費	8,776
	需用費	41,484
	役務費	10,069
	委託料	881,921
	使用料及び賃借料	66,518
	備品購入費	10,000
	負担金補助及び交付金	4,659
	公課費	1,320
	常備消防施設費	88,660
	旅費	65
	役務費	292
	委託料	8,615
	工事請負費	39,655
	備品購入費	40,000
	公課費	33
非常備消防費	164,052	
非常備消防施設費	90,501	
計	2,535,870	
水防費	303	
災害対策費	177,617	
合計	2,713,790	

12. 消防職員特殊技能その他資格取得状況

令和6年4月1日現在(単位:人)

種 別	区 分	消 防 員						事務吏員	計		
		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長			消防士	
自動車運転免許	一 種	大 型	1	6	31	31	29	20	14	132	
		中 型				1	1			2	
		普 通	1	6	31	31	29	20	37	2	157
		大型特殊 けん引			2	2	2				6
	二 種	大 型		1	6	5	2			14	
		普 通			5	5	1			11	
	自 動 二 輪		5	23	20	16	3	1	1	69	
救 急 救 命 士			1	11	9	9	5	6		41	
応 急 手 当 指 導 員			1	9	3					13	
薬 剤 投 与 認 定				9	6	4	2	3		24	
気 管 挿 管 認 定			1	14	7	3				25	
自 動 車 整 備 士 3 級											
移 動 式 ク レ ーン 運 転 士											
小型移動式クレーン技能講習		1	2	14	13	4				34	
玉 掛 技 能 講 習			1	12	12	2				27	
消 防 設 備 士	甲 種 第 4 類			1						1	
	乙 種 第 1 類			1	6	1				8	
	乙 種 第 2 類			1	4					5	
	乙 種 第 3 類			1	2					3	
	乙 種 第 4 類			2	8	6		1		17	
	乙 種 第 5 類			1	5					6	
	乙 種 第 6 類			1	9	3		1		14	
乙 種 第 7 類			1	1			1		3		
消 防 設 備 点 検 資 格 者	第 1 種		1							1	
	第 2 種		1							1	
危 険 物 取 扱 者	甲 種			1						1	
	乙 種	第 1 類		1	1	11	10	1	2		26
		第 2 類		1	1	8	6	1	1		18
		第 3 類		1	1	8	4	1	1		16
		第 4 類	1	5	23	27	24	12	11		103
		第 5 類		1	1	9	4	1	1		17
	第 6 類		1	2	8	10	1	2		24	
丙 種			1	1					2		
陸 上 特 殊 無 線 技 師	2 級			1	1	1				3	
	3 級		3	18	23	11				55	
第 4 級 ア マ チ ュ ア 無 線 技 士		1	2	2						5	
電 気 工 事 士				3	3	4	1			11	
認 定 電 気 工 事 従 事 者						1				1	
毒 ・ 劇 物 取 扱 者					1					1	
ガ ス 溶 接 技 能 講 習				1	1					2	
アーク溶接特別教育				1						1	
ボ イ ラ ー 技 師 2 級						1		2		3	
小 型 船 舶 操 縦 士	1 級			2	2	1				5	
	2 級	1	1	4	5	2	1			14	
潜 水 士				7	13	6	6	3		35	
車 両 系 建 設 機 械 技 能 講 習				5	9	6				20	
車 両 系 建 設 機 械 技 能 講 習 (解 体 用)				5	8	3				16	
小 型 車 両 系 建 設 機 械 技 能 講 習			1	7	2					10	
石 油 機 器 技 能 管 理 士											
特 定 化 学 物 質 作 業 主 任 者											
防 火 対 象 物 点 検 資 格 者											
防 災 管 理 点 検 資 格 者											
予 防 技 術 資 格 者	防 火 査 察		2	5	15	18	7	2		49	
	消 防 用 設 備 等		2	2	13	7				24	
	危 険 物		2		8	7	1			18	
防 災 士			4	3	3	4		1		15	

III. 予防

1. 地域別火災発生状況

令和5年1月1日～令和5年12月31日

区分		地域別									
		川内	樋脇	入来	東郷	祁答院	里	上甑	下甑	鹿島	計
火災件数 (件)		20	3	3	2	2	1	2	1		34
火災種別	建物火災 (件)	9	1	1		1	1	1			14
	林野火災 (件)		1			1					2
	車両火災 (件)										
	船舶火災 (件)							1	1		2
	その他 (件)	11	1	2	2						16
焼損棟数	住家 (棟)	6					1	1			8
	非住家 (棟)	7	1	1		5		1			15
り災世帯数		5					1	1			7
り災人員数 (人)		11					2	1			14
焼失面積	建物	床面積 (㎡)	206		805		44		7		1,062
		表面積 (㎡)	8				3		13		24
	林野等 (a)		1			1					2
死傷者	死者 (人)										
	傷者 (人)	2	1	1	1				1		6
損害額	建物火災 (千円)	8,557	70	67,868		2,521	2	26			79,044
	林野火災 (千円)										
	車両火災 (千円)										
	船舶火災 (千円)							73	2,000		2,073
	その他 (千円)	25				40		7			72
	計 (千円)	8,582	70	67,868		2,561	2	106	2,000		81,189

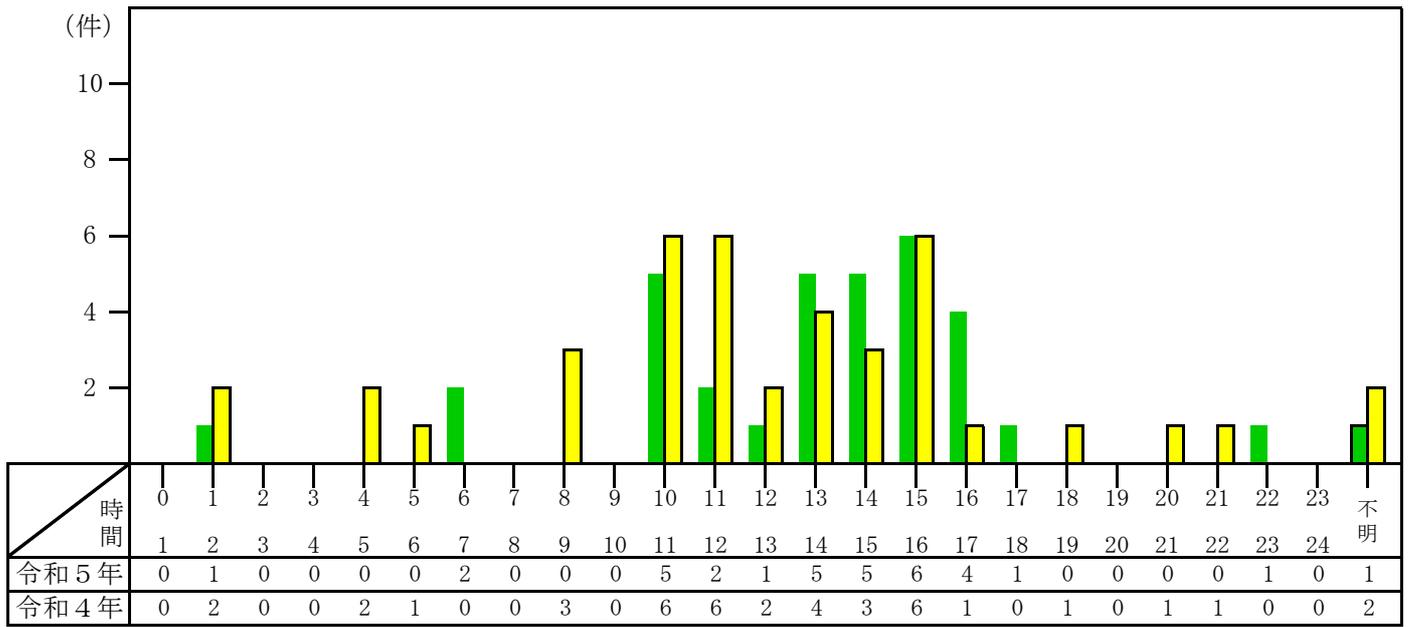
2. 月別火災発生状況

令和5年1月1日～令和5年12月31日

区分		月別												計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火災種別	建物火災 (件)	1	3	2	1	2		1		2	2			14
	林野火災 (件)					1						1		2
	車両火災 (件)													
	船舶火災 (件)					1			1					2
	その他 (件)	2	2	3		2				1	3	2	1	16
	計 (件)	3	5	5	1	6		1	1	3	5	3	1	34
損害額	建物火災 (千円)	4,106	2,526	67,956	70	565		2		1,295	2,524			79,044
	林野火災 (千円)													
	車両火災 (千円)													
	船舶火災 (千円)					2,000			73					2,073
	その他 (千円)	24	1							7	40			72
	計 (千円)	4,130	2,527	67,956	70	2,565		2	73	1,302	2,564			81,189
焼損棟数	住家	全焼 (棟)	1											1
		半焼 (棟)												
		部分焼 (棟)		1						1				2
		ぼや (棟)		3					1		1			5
	非住家	全焼 (棟)		2	1		1			1	4			9
		半焼 (棟)												
		部分焼 (棟)									1			1
		ぼや (棟)	1		1	1	1			1				5
り災世帯数		1	3					1		1	1			7
り災人員数 (人)		1	9					2		1	1			14
死傷者	死者 (人)													
	傷者 (人)	1	1			2				1	1			6
焼失面積	建物	床面積 (㎡)	110	88	805		8		7		44			1,062
		表面積 (㎡)		8					13		3			24
	林野等 (a)					1						1		2

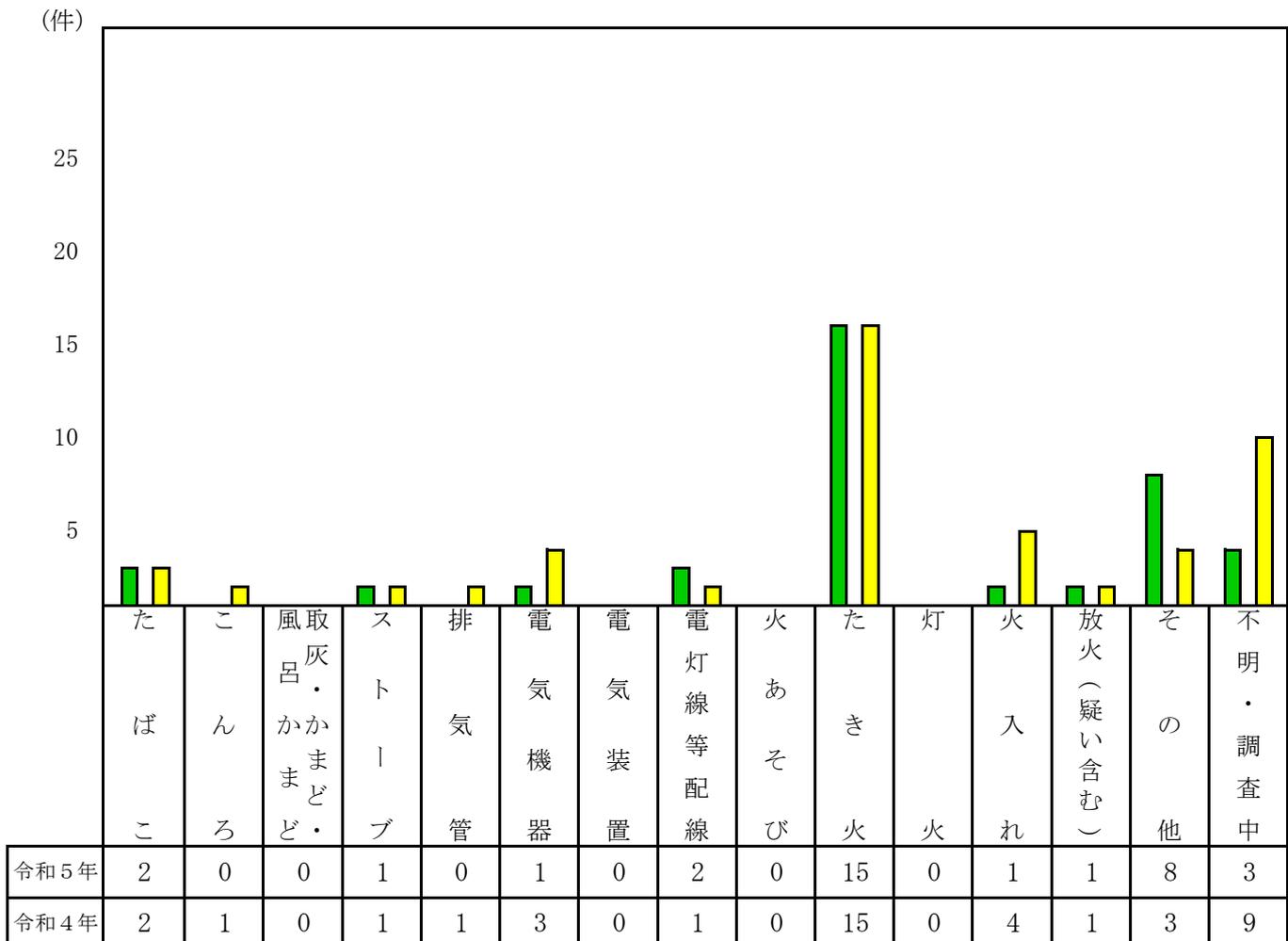
3. 時間別火災発生状況

令和5年 ■ 令和4年 ■

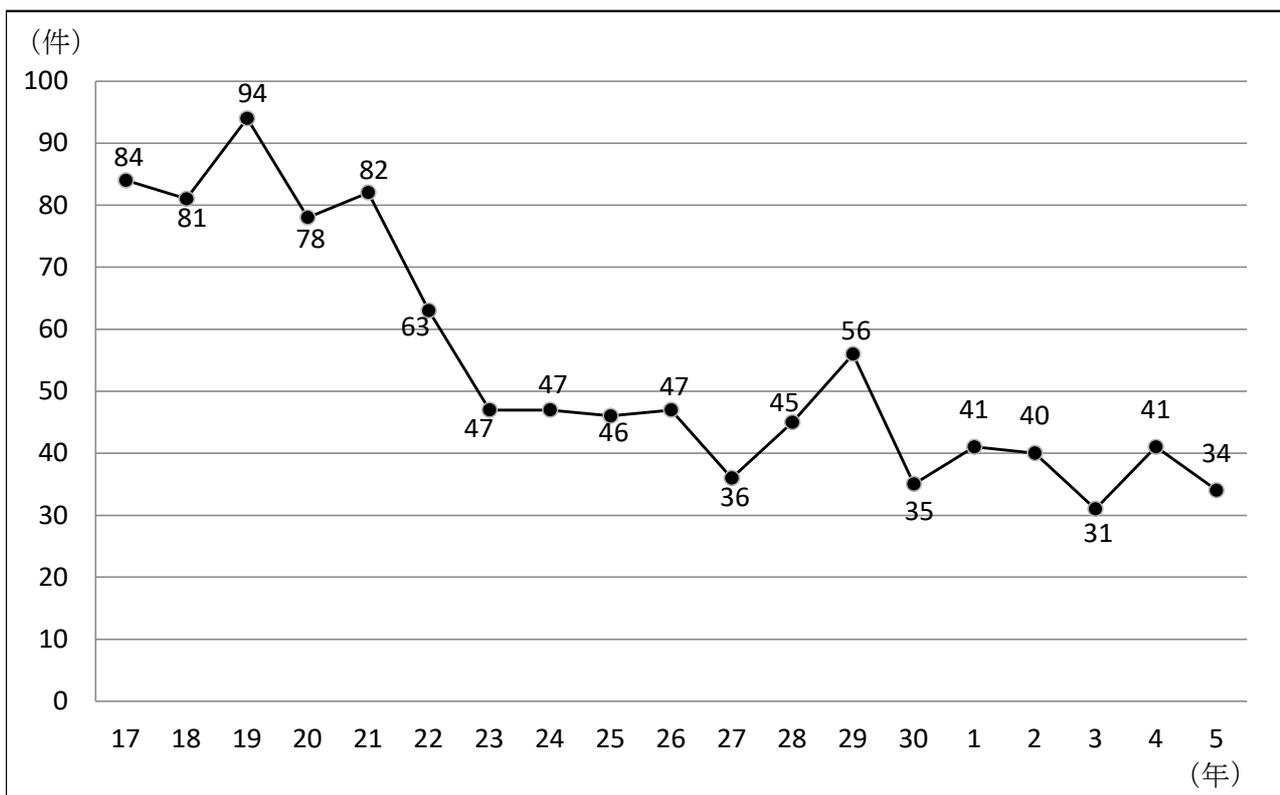


4. 原因別火災発生状況

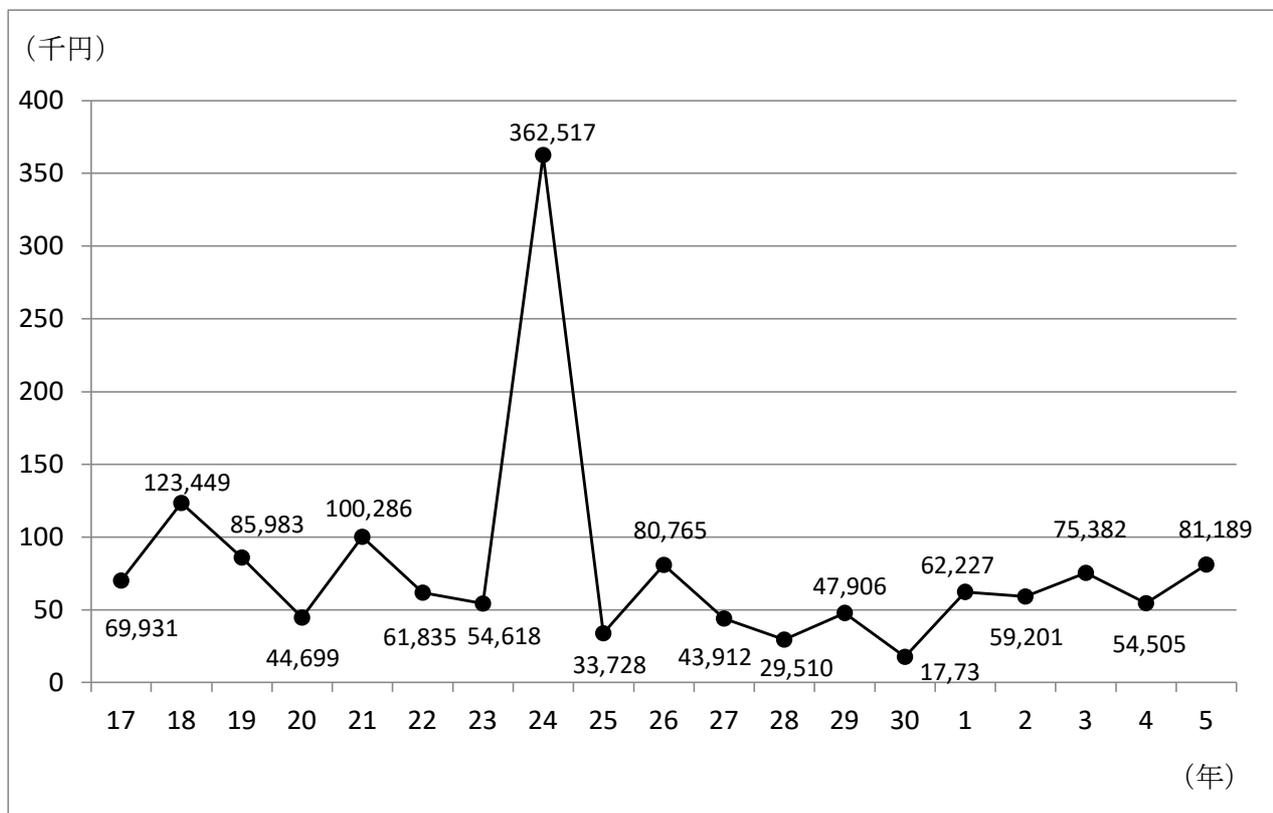
令和5年 ■ 令和4年 ■



5. 火災発生件数の推移



6. 火災損害見積額の推移



7. 防火対象物現況

(単位：棟)
令和6年4月1日現在

区分		署所						計
		中央消防署 (含南部分署)	東部消防署 (含祁答院分署)	西部消防署	上甌分駐所	下甌分駐所		
1	イ	劇場・観覧場類	5			1		6
	ロ	公会堂・集会場類	18	5		1	1	25
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ類						
	ロ	遊技場・ダンスホール	12					12
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗						
	ニ	カラオケボックス等	1					1
3	イ	待合・料理店類						
	ロ	飲食店	59	7	3	3	1	73
4		百貨店・物品販売店舗	138	18	5	1	2	164
5	イ	旅館・ホテル類	40	6	10	6	12	74
	ロ	寄宿舎・共同住宅類	1,002	41	7	21	29	1,100
6	イ	病院・診療所又は助産所	70	13	3	2	4	92
	ロ	老人短期入所施設等	42	16	4	4	4	70
	ハ	老人デイサービスセンター等	97	27	15	1	3	143
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	6	2		2		10
7		学校	132	37	8	8	10	195
8		図書館・博物館類	5	4	2		1	12
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場類						
	ロ	イに掲げるもの以外の公衆浴場	2	6	2			10
10		車両の停車場			1	1	1	3
11		神社・寺院・教会類	28	9	8	4	7	56
12	イ	工場・作業場	315	127	72	12	11	537
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ						
13	イ	自動車車庫・駐車場	48	19	11		1	79
	ロ	飛行機の格納庫						
14		倉庫	192	65	70	10	7	344
15		前各号に該当しない事業場	396	297	98	37	35	863
16	イ	前1～4・5イ・6・9イの存する 複合用途防火対象物	258	26	6	12	7	309
	ロ	イに掲げるもの以外の複合用 途防火対象物	156	18	8	6	2	190
18		アーケード	5					5
計			3,027	743	333	132	138	4,373

8. 建築同意事務処理状況

(単位：件)
令和5年4月1日～令和6年3月31日

区分 \ 署別	中央消防署 (含南部分署、 上甗・下甗分駐所)	東部消防署 (含祁答院分署)	西部消防署	計
新 築	130	4	7	141
増 築	10		1	11
改 築				
移 転				
修 繕				
模 様 替				
用 途 変 更	2	1		3
そ の 他				
合 計	142	5	8	155

区分 \ 署別	中央消防署 (含南部分署、 上甗・下甗分駐所)	東部消防署 (含祁答院分署)	西部消防署	計
建築申請通知(一般住宅)	288	19	2	309

9. 防火対象物定期点検報告制度実施状況

(単位:棟)
令和5年4月1日～令和6年3月31日

防火対象物の区分		防火対象物定期点検報告制度実施状況									
		該当数		点検報告済		特例認定済		一部点検済又は特例認定済		未実施又は特例認定申請中	
		1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号
1項	イ	1								1	
	ロ	17		3		9				5	
2項	イ										
	ロ	8		2		4				2	
	ハ										
	ニ		1		1						
3項	イ										
	ロ	2	1							2	1
4項		15		10						5	
5項	イ	4	3	2	1		1			2	1
6項	イ	2	1	2			1				
	ロ										
	ハ										
	ニ										
9項	イ										
16項	イ	19	6	6	1	11	2			2	3
16項の2											
合計		68	12	25	3	24	4			19	5

※1号とは、消防法施行令第4条の2の2の1号に定める人員300人以上のもの。

※2号とは、同第2号に定める特定1階段等防火対象物。

10. 中高層建築物一覧表

(単位:棟)
令和6年4月1日現在

階数	署別						計
		中央消防署 (含南部分署)	東部消防署 (含祁答院分署)	西部消防署	上甌分駐所	下甌分駐所	
3階		410	35	17	18	25	505
4階		203	18	4			225
5階		66	8	5		3	82
6階		13	3	3	1		20
7階		11					11
8階		2					2
9階		2					2
10階		3					3
11階		2					2
12階		2					2
13階		1					1
14階		1	1				2
15階		2					2
合計		718	65	29	19	28	859

11. 諸届出書の処理状況

(単位：件)
令和5年4月1日～令和6年3月31日

区分	署所							合計
	(含 中央南 消防署)	東 部 消 防 署	祁 答 院 分 署	西 部 消 防 署	上 甌 分 駐 所	下 甌 分 駐 所		
薩摩川内市火災予防条例関係	防火対象物使用開始届出書	55	11	3	11		2	82
	炉・厨房設備・ボイラー等設置届出書	30	8	1	2	2		43
	発電・変電・蓄電池設備設置届出書	23	6	1	7		4	41
	ネオン管灯設備設置届出書							
	水素ガスを充てんする気球の設置届出書							
	火災と紛らわしい煙等を発するおそれのある行為等の届出書	84	92	40	17	6	4	243
	煙火打上・仕掛け届出書	32	6	10			2	50
	催物開催届出書	5		1				6
	水道断滅水届出書	8	5	1			2	16
	道路工事届出書	391	79	12	33	20	30	565
	露店等の開設届出書	44	19	3	4	3	2	75
	指定洞道等設置届出書							
	少量危険物・指定可燃物貯蔵届出書	6	5	2	7			20
	小計	678	231	74	81	31	46	1,141
消防法関係	液化石油ガス等の貯蔵又は取扱い届出書	48	6		4			58
	消防用設備等着工届出書	112	10	7	19	1	3	152
	消防用設備等設置届出書	344	38	7	46	4	12	451
	防火管理者選(解)任届出書	130	22	5	5	8	9	179
	消防計画作成(変更)届出書	137	25	6	5	9	9	191
	小計	771	101	25	79	22	33	1,031
合計	1,449	332	99	160	53	79	2,172	

12. 予防査察実施状況

(単位：件)
令和5年4月1日～令和6年3月31日

区分		署 所						
		中央消防署 (含南部分署)	東部消防署 (含祁答院分署)	西部消防署	上甌分駐所	下甌分駐所	計	
1	イ	劇場・観覧場類	1					1
	ロ	公会堂・集会場類	24			2		26
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ類						
	ロ	遊技場・ダンスホール	4					4
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗						
	ニ	カラオケボックス等	1					1
3	イ	待合・料理店類						
	ロ	飲食店	41	6	2	13	2	64
4		百貨店・物品販売店舗	19	7	5	1	2	34
5	イ	旅館・ホテル類	62	9	8	12	21	112
	ロ	寄宿舎・共同住宅類	14	11	2		6	33
6	イ	病院・診療所又は助産所	26	6	1		2	35
	ロ	老人短期入所施設等	49	16	4	4	4	77
	ハ	老人デイサービスセンター等	35	22	2	2	1	62
	ニ	幼稚園又は特別支援学校						
7		学校	20	14		4		38
8		図書館・博物館類		1				1
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場類						
	ロ	イに掲げるもの以外の公衆浴場	1	1	1			3
10		車両の停車場	1				1	2
11		神社・寺院・教会類	6	3	4		5	18
12	イ	工場・作業場	34	25	35	9	2	105
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ						
13	イ	自動車車庫・駐車場	9	5	2			16
	ロ	飛行機の格納庫		18				18
14		倉庫	40	20	7	1	3	71
15		前各号に該当しない事業場	147	17	20	25	7	216
16	イ	前1～4・5イ・6・9イの存する複合用途防火対象物	34	8	1	8	2	53
	ロ	イに掲げるもの以外の複合用途防火対象物	12	1	4			17
合 計			580	190	98	81	58	1,007

13. 地域別危険物施設現況

(単位：施設)
令和6年4月1日現在

区分		地域										合計
		川内	樋脇	入来	東郷	祁答院	里	上甌	下甌	鹿島		
製造所		2										2
貯蔵所	屋内貯蔵所	20	1			2		2	5			30
	屋外タンク貯蔵所	36	5	9	3		6	8	3			70
	屋内タンク貯蔵所	3		1					1			5
	地下タンク貯蔵所	57	1	1	4	3	1	1	4			72
	簡易タンク貯蔵所											
	移動タンク貯蔵所	36	5	5	4	1	3	2	4			60
	屋外貯蔵所	2							3			5
	計	154	12	16	11	6	10	13	20			242
取扱所	給油取扱所	60	8	9	5	7	3	6	7			105
	移送取扱所	2						1				3
	一般取扱所	65	3	2	3	1	2	8	6			90
	第一種販売取扱所	1										1
	第二種販売取扱所	1										1
	計	129	11	11	8	8	5	15	13			200
合計		285	23	27	19	14	15	28	33			444

14. 危険物施設の数量及び類別状況

(単位：施設)
令和6年4月1日現在

数量・類別 施設区分		数量別							類別									
		5倍以下	5倍を超え 10倍以下	10倍を超え 50倍以下	50倍を超え 100倍以下	100倍を超え 150倍以下	150倍を超え 200倍以下	200倍を超え 1,000倍以下	1,000倍を 超えるもの	計	単 独						混在	計
											第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類		
製 造 所		1		1					2				2					2
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	13	10	3	1	1	1	1	30				27				3	30
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	14	15	28	2	3		8	70				69			1		70
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	4	1						5				5					5
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	35	8	15	2	7		5	72				72					72
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所																	
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	47	7	3	3				60				59			1		60
	屋 外 貯 蔵 所	2	2	1					5				5					5
	計	115	43	50	8	11	1	14	242				237			2	3	242
取 扱 所	給 油 取 扱 所	9	9	38	19	8	8	14	105				105					105
	移 送 取 扱 所						1	2	3				3					3
	一 般 取 扱 所	31	15	27	10		3	4	90	1			84			5		90
	第 一 種 販 売 取 扱 所			1					1				1					1
	第 二 種 販 売 取 扱 所			1					1				1					1
	計	40	24	67	29	8	12	20	200	1			194			5		200
合 計		156	67	118	37	19	13	34	444	1			433		2	8		444

15. 危険物施設の許可等処理状況

(単位：件)
令和5年4月1日～令和6年3月31日

施設区分		種別		許 可		完 成 検 査		廃止届	承 認		
		設 置	変 更	設 置	変 更	仮 使 用	仮 貯 蔵		仮 取 扱		
製 造 所											
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所							2			
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所		2	1	3			1	2		
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所										
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所			1				1			
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所										
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	2	2	2	2			1			
	屋 外 貯 蔵 所									20	1
	計	2	4	4	5			5	2		
取 扱 所	給 油 取 扱 所	1	8	1	7			1	6		
	移 送 取 扱 所										
	一 般 取 扱 所	2	8	1	11				6		
	第 一 種 販 売 取 扱 所										
	第 二 種 販 売 取 扱 所										
	計	3	16	2	18			1	12		
合 計		5	20	6	23			6	14	20	1

16. 危険物施設の立入検査実施状況

(単位：件)
令和5年4月1日～令和6年3月31日

施設区分		項目	検査施設数	延回数
製		造 所	1	1
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所		21	21
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所		30	30
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所		2	2
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所		40	40
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所		52	52
	屋 外 貯 蔵 所		1	1
		計		146
取 扱 所	給 油 取 扱 所		69	69
	移 送 取 扱 所		2	2
	一 般 取 扱 所		39	39
	第 一 種 販 売 取 扱 所			
	第 二 種 販 売 取 扱 所			
		計		110
合 計			257	257

IV. 敬防

1. 消防水利状況

(単位:基)
令和6年4月1日現在

区分 地域名	消 火 栓		防 火 水 槽				その他	
	総 数	格納箱	総 数	40t以上	40t未満	有 蓋		無 蓋
川 内	1,691		470	169	301	470		31
樋 脇	250	206	78	74	4	78		4
入 来	182	127	61	40	21	61		3
東 郷	109		104	101	3	103	1	1
祁 答 院	93	54	112	61	51	112		6
里	44	5	31	28	3	31		3
上 甌	79	37	21	19	2	21		6
下 甌	99	83	44	37	7	44		
鹿 島	19	17	10	8	2	10		
合 計	2,566	529	931	537	394	930	1	54

※ 「その他」は、プール・自然水利等

※ 防火水槽の「無蓋」について

東郷町斧淵司野上: 四面フェンス処置あり

入来町朝陽村尾: 全面フェンス被覆処置あり(有蓋扱い)

2. 消防車両等の概要

令和6年4月1日現在

番号	所属	車両名	車種	登録番号	年式	経過年数	排気量 (cc)	重量 (kg)	車長 (cm)	車幅 (cm)	高さ (cm)	ポンプ等		備考	
												メーカー	級		
1	消防本部	指令車	ニッサン	鹿児島 800 す 6427	H 27	9	2,490	2,005	498	184	173				
2		消防総務	連絡車Ⅰ(軽)	ニッサン	鹿児島 480 て 4980	H 26	10	650	1,350	339	147	179			
3			連絡車Ⅱ	トヨタ	鹿児島 800 す 9196	H 31	5	990	1,365	370	167	190			
4			ミニ運搬車(軽)	スズキ	鹿児島 480 は 5536	R 1	5	650	1,200	339	147	176			
5			資機材搬送車Ⅰ	日野	鹿児島 800 す 9364	H 31	5	4,000	7,455	769	218	267			クレーン付
6			小型バス	日野	鹿児島 200 さ 1647	H 28	8	4,000	5,485	699	203	258			乗車定員:29人
7			予備ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 7486	H 16	20	4,000	4,335	559	188	250	日本ドライケミカル	A-2	
8			警防	本部指揮隊車	トヨタ	鹿児島 800 す 7009	H 28	8	2,690	2,690	538	188	248	ヨコハマモーターセールス	
9		警防連絡車Ⅰ		ニッサン	鹿児島 832 は 119	R 2	4	1,990	2,150	477	174	201			
10		支援タンク車		日野	鹿児島 800 は 831	H 17	19	6,400	9,420	669	220	280	GMV いちほら工業	A-2	水 2t
11		支援救急車(アステラス)		トヨタ	鹿児島 800 さ 8836	H 18	18	3,370	2,825	539	180	246			
12		予防	予防指導車(軽)	三菱	鹿児島 880 あ 1459	H 26	10	650	1,430	339	147	194			
13			火災原因調査車	ニッサン	鹿児島 800 す 7010	H 28	8	1,990	3,275	474	169	215			
14	中央消防署	指揮車	ニッサン	鹿児島 830 つ 101	H 31	5	1,990	1,835	469	182	188				
15		中央	ポンプ車	日野	鹿児島 830 す 102	R 5	1	4,000	5,605	590	194	296	日本ドライケミカル	A-2	
16			タンク車	日野	鹿児島 800 は 1994	H 30	6	5,120	10,780	732	235	302	小川ポンプ工業	A-2	水 2t
17			梯子車	日野	鹿児島 800 は 1469	H 25	11	8,860	20,290	1,145	249	353	モリタ	A-2	30m級
18			救助工作車	日野	鹿児島 830 セ 105	R 4	2	5,120	11,895	788	240	325	帝国繊維		
19			高規格救急車Ⅰ	トヨタ	鹿児島 800 す 7724	H 29	7	2,690	3,195	565	189	249			
20			高規格救急車Ⅱ	トヨタ	鹿児島 800 す 2008	H 21	15	2,690	3,205	562	189	249			
21		南部	連絡車(軽)	スバル	鹿児島 880 あ 590	H 20	16	650	1,420	339	147	197			
22	タンク車		日野	鹿児島 800 は 1690	H 27	9	6,400	10,010	727	228	286	日本ドライケミカル	A-2	水 2t	
23	高所放水車		日野	鹿児島 800 は 1222	H 22	14	8,860	16,640	905	249	362	モリタ	A-1	25m級	
24	高規格救急車		ニッサン	鹿児島 800 セ 2964	R 6	0	2,480	3,265	533	188	250			電動ストレッチャー	
25	上瓶	連絡車	三菱	鹿児島 880 あ 1818	H 28	8	650	1,390	339	147	196				
26		普通救急車	トヨタ	鹿児島 800 す 5351	H 26	10	2,690	3,165	562	189	249				
27	下瓶	連絡車	三菱	鹿児島 880 あ 1954	H 30	6	650	1,370	339	147	195				
28		普通救急車	トヨタ	鹿児島 800 す 3758	H 24	12	2,690	3,165	562	189	249				
29	東部消防署	指揮車	ニッサン	鹿児島 800 す 8444	H 30	6	1,490	1,505	441	169	170				
30		東部	タンク車	日野	鹿児島 800 は 1282	H 22	14	6,400	9,450	668	230	280	日本機械工業	A-2	水 2t
31			高規格救急車	トヨタ	鹿児島 800 す 9451	R 1	5	2,690	3,295	565	189	255			
32		祁答院	指揮車(軽)	ニッサン	鹿児島 880 あ 151	H 18	18	650	1,030	339	147	173			
33	タンク車		日野	鹿児島 830 す 603	R 4	2	5,120	10,700	729	230	298	日本ドライケミカル	A-2	水 2t	
34		高規格救急車	ニッサン	鹿児島 800 す 6744	H 27	9	3,490	3,275	566	190	250				
35	西部消防署	指揮車	ニッサン	鹿児島 800 す 8450	H 30	6	1,490	1,515	441	169	170				
36		西部	タンク車	日野	鹿児島 800 は 1383	H 24	12	6,400	9,810	715	229	284	日本ドライケミカル	A-2	水 2t
37			大型化学車	日野	鹿児島 800 は 1261	H 22	14	8,860	14,520	865	249	315	モリタ	A-1	泡原液 1.8t 水 1.5t
38			原液搬送車	日野	鹿児島 800 は 1307	H 23	13	7,680	12,750	683	244	285	モリタ		泡原液 5t
39		高規格救急車	トヨタ	鹿児島 800 す 4384	H 24	12	2,690	3,185	562	189	249				

【総務省消防庁無償貸与車両等】

番号	所属	車両名	車種	登録番号	年式	経過年数	排気量 (cc)	重量 (kg)	車長 (cm)	車幅 (cm)	高さ (cm)	ポンプ等		備考
												メーカー	級	
1	消防本部	支援車Ⅰ型	日野	鹿児島 800 は 1276	H 22	14	12,910	19,620	1,100	249	355	ヨコハマモーターセールス		
2		重機搬送車	日野	鹿児島 800 は 1486	H 25	11	7,680	19,915	1,153	249	318	帝国繊維		
3		燃料補給車	三菱	鹿児島 800 す 4352	H 24	12	2,990	4,035	468	169	222	第一実業		
4		建設機械(5トン級)	コマツ			H 24	12	2,189	563	557	196	2,630	コマツ	

3. 無線配備状況

(1) 常備消防

令和6年4月1日現在

基地局（6局）		寺山基地局・本部基地局・寄田基地局・祁答院基地局・上甌基地局・下甌基地局			
波 名 称		活動波1（消防波）・活動波2（救急波）・活動波3（活動波）・主運用波 統制波1・統制波2・統制波3			
所 属		無線機種別			
		可搬型	卓上型	車載型	携帯型
消 防 本 部	消 防 総 務 課			5	1
	警 防 課	3		8	5
	予 防 課			2	3
	通 信 指 令 課				5
中 央 消 防 署			※受令機 ₁	7	12
南 部 分 署			1	4	6
上 甌 分 駐 所			1	2	3
下 甌 分 駐 所			1	2	3
東 部 消 防 署			1	3	7
祁 答 院 分 署			1	3	5
西 部 消 防 署			1	5	7
合 計		3	7	41	57

(2)非常備消防

令和6年4月1日現在

基地局（6局）		寺山基地局・本部基地局・寄田基地局・祁答院基地局・上甌基地局・下甌基地局				
波名称		活動波4（消防団波）				
無線機種別						
所屬		可搬型	卓上型	車載型	携帯型	
団	本 部			1	10	
市	役 所		※受令機 1			
中央大隊	大 隊 本 部				7	
	川内南方面隊	川内中央南分団			4	1
		川内南分団			5	1
		平佐東分団			2	1
		高江分団			1	1
	川内北方面隊	川内中央北分団			4	1
		下東郷分団			2	1
		高城東分団			2	1
		城上分団			2	1
	東郷方面隊	東郷中央分団			2	1
		東郷東分団			2	1
		東郷西分団			2	1
	西部大隊	大 隊 本 部			1	4
西部方面隊		水引分団			2	1
		高城西分団			2	1
		川内西分団			3	1
東部大隊	大 隊 本 部			1	7	
	樋脇方面隊	樋脇北分団			2	1
		樋脇中央分団			2	1
		市比野中央分団			2	1
		市比野南分団			2	1
	入来方面隊	副田分団			1	1
		清色分団			1	1
		大馬越分団			1	1
		朝陽分団			1	1
	祁答院方面隊	黒木分団			1	1
		上手分団			1	1
		下手分団			2	1
藺牟田分団				2	1	
上甌大隊	大 隊 本 部			1	5	
	上甌方面隊	里分団			3	1
		上甌中央分団			6	1
		浦内分団			3	1
下甌大隊	大 隊 本 部			2	5	
	下甌方面隊	下甌北分団			8	1
		下甌南分団			6	1
		鹿島分団			2	1
合 計			1	87	70	

無線基地局 位置図



【甌島区域】



4. 气象状况(薩摩川内市消防局本部庁舎屋上)

令和5年1月1日～令和5年12月31日

月別	气温 (°C)			湿度 (%)				風 (m)			雨量 (mm)	
	平均	最高	最低	相对湿度平均	相对湿度最高	相对湿度最低	実効湿度平均	平均風速	平均風向	最大瞬間風速	時間最大	月積算
1	6.9	19.7	-3.1	90.9	99.9	49.4	90.6	1.3	北	22.0	17.0	110.5
2	9.2	20.1	-1.4	88.9	99.9	41.6	89.0	1.3	北北西	17.7	26.5	189.5
3	13.1	23.4	-0.8	89.3	99.9	24.4	89.1	1.1	西	13.1	17.5	194.5
4	16.7	25.6	3.9	87.0	99.9	24.1	86.4	1.7	東	15.5	20.0	293.5
5	20.1	29.5	8.4	89.4	99.9	27.4	89.1	1.8	西	23.4	25.5	245.0
6	23.2	30.5	15.9	95.9	99.9	65.5	95.4	1.5	西	17.4	28.0	375.5
7	27.9	34.9	23.1	96.1	99.9	59.7	96.3	2.0	南南西	17.0	71.0	312.0
8	28.2	34.1	23.5	94.3	99.9	61.1	94.0	2.2	東	25.7	39.5	268.0
9	26.8	34.3	20.1	93.0	99.9	58.0	93.0	1.1	西	12.4	11.0	32.5
10	18.3	29.9	8.0	89.4	99.9	42.2	89.4	0.9	北北西	14.4	9.5	94.5
11	14.2	27.5	2.1	90.2	99.9	49.4	89.9	1.2	北北西	18.6	10.0	81.5
12	9.2	23.6	-2.0	93.3	99.9	51.1	92.9	1.1	北北西	16.9	17.0	120.0

V. 救急 及び救助

1. 地域別救急出場状況

(単位:件)

令和5年1月1日～令和5年12月31日

地域別 種別	川内地区	樋脇地区	入来地区	東郷地区	祁答院地区	里地区	上甌地区	下甌地区	鹿島地区	串木野	その他	合計
火災	5	3	2	1	1		2	1				15
自然災害												
水難	1											1
交通事故	176	17	19	13	13	1	2	4			1	246
労働災害	21	1	4	2	2			1				31
運動競技	27	17	6	1								51
一般負傷	472	58	39	33	32	7	8	22	2	2		675
加害	5											5
自損行為	26	2	1			1	1	1			1	33
急病	2,040	224	168	150	140	16	36	87	11	18		2,890
転院搬送	815	5	11	3	7	17	32	37		33		960
その他	44	4	2			2		2				54
計	3,632	331	252	203	195	44	81	155	13	53	2	4,961
前年	3,345	352	251	195	172	57	89	131	14	56	5	4,667

2. 月別救急出場状況

(単位:件)

令和5年1月1日～令和5年12月31日

月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
火災	2	2	1	1	3			1	1	4			15
自然災害													
水難											1		1
交通事故	16	22	21	24	26	23	24	21	13	23	12	21	246
労働災害	3		5	2	3	3	5	1	3	3	3		31
運動競技	2	2	2		5	6	7	4	3	10	6	4	51
一般負傷	53	43	63	60	64	51	63	61	67	57	40	53	675
加害						1	4						5
自損行為	2	1	2	2		4	5	2	8	3	3	1	33
急病	294	191	183	214	250	219	290	287	248	237	219	258	2,890
その他	95	102	80	82	80	91	82	94	87	76	69	76	1,014
計	467	363	357	385	431	398	480	471	430	413	353	413	4,961

(種別のその他には転院搬送を含む)

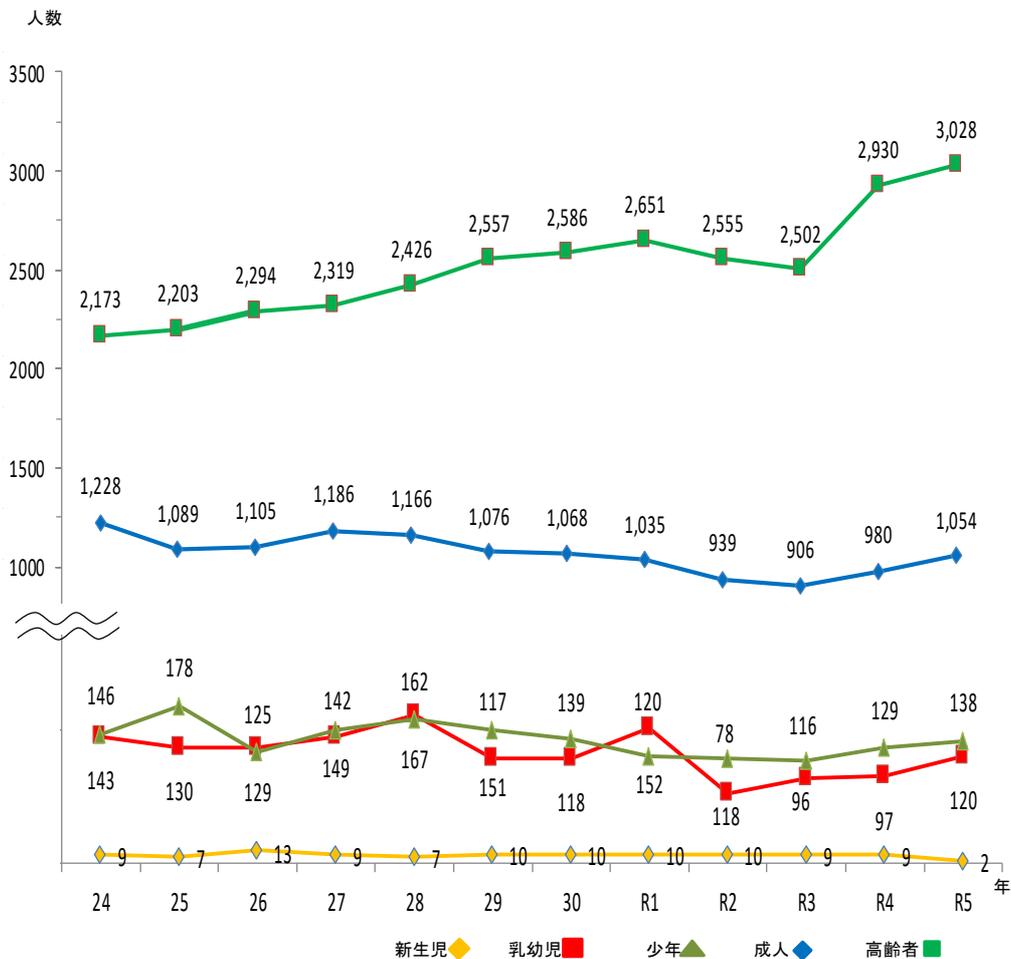
3. 年齢区分別搬送人員

(単位:人)
令和5年1月1日～令和5年12月31日

種別	区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
火災					1	3	4
自然災害							
水難							
交通事故			5	28	110	73	216
労働災害					18	11	29
運動競技				30	15	2	47
一般負傷			22	9	101	475	607
加害					3		3
自損行為					18	3	21
急病			85	65	575	1,768	2,493
その他		2	8	6	213	693	922
合計		2	120	138	1,054	3,028	4,342
構成比(%)		0	3	3	24	70	100
前年		9	96	130	981	2,929	4,145
前年比		△7	24	8	73	99	197

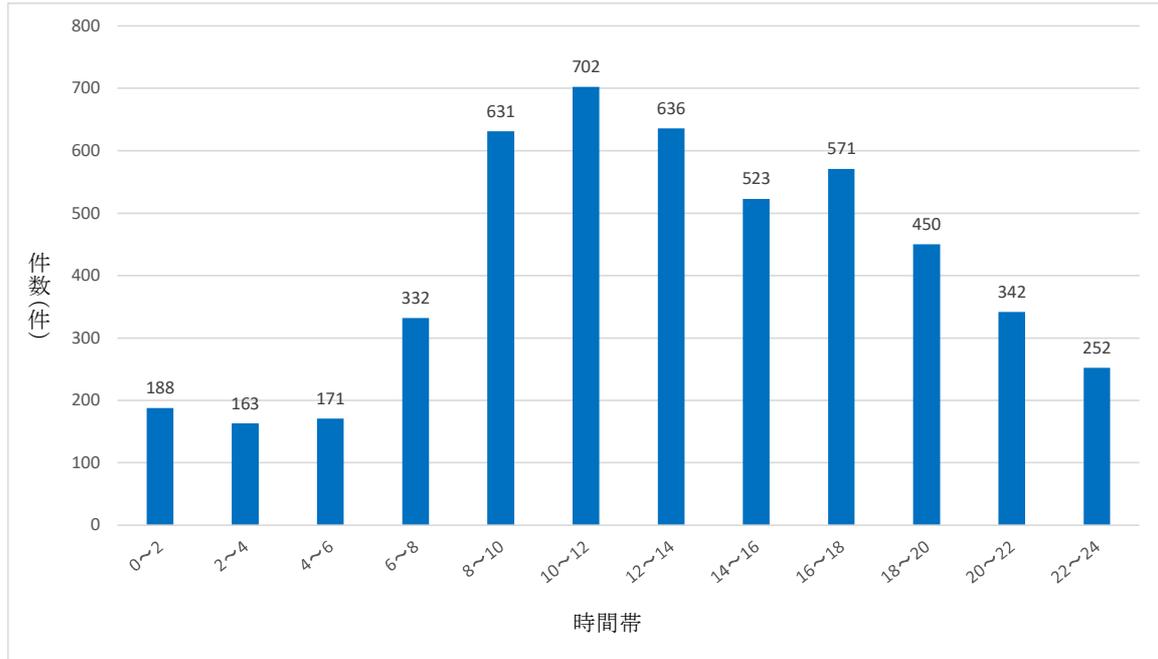
新生児 生後28日未満
乳幼児 生後28日以上～満7歳未満
少年 満7歳以上～満18歳未満
成人 満18歳以上～満65歳未満
高齢者 満65歳以上

【年齢区分別推移】



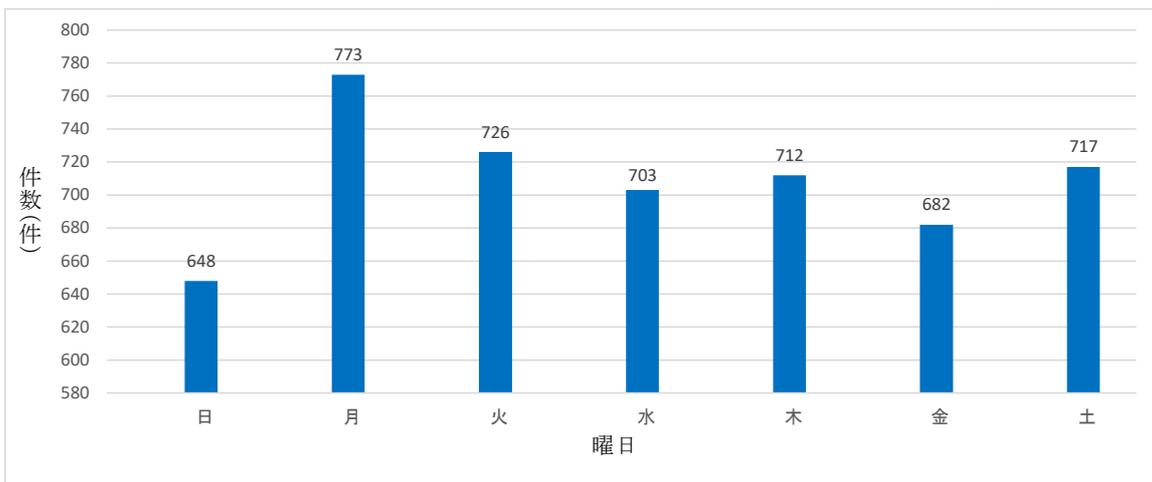
4. 時間別出場状況

令和5年1月1日～令和5年12月31日



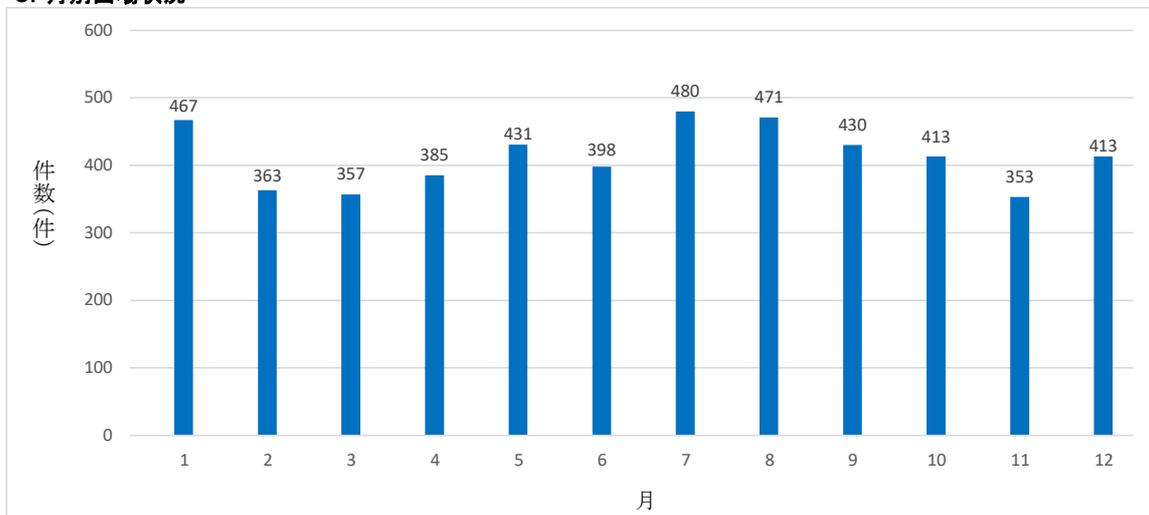
5. 曜日別出場状況

令和5年1月1日～令和5年12月31日



6. 月別出場状況

令和5年1月1日～令和5年12月31日



7. 救急隊員の行った応急処置状況（搬送者のうち）

令和5年1月1日～令和5年12月31日
(単位:件)

応急処置		事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計	前年	前年比	
止血			4	11	37	8	60	75	▲ 15	
固定				47	32	18	97	90	7	
心肺蘇生			65	1	10	2	78	80	▲ 2	
酸素吸入			449	10	20	219	698	681	17	
気道確保 ただし、※1,2,3を除く			56	1	6	2	65	64	1	
保温			24		6	7	37	52	▲ 15	
被覆			2	46	114	23	185	187	▲ 2	
除細動			13				13	10	3	
拡大 応急 処置	在宅療法継続		2				2	7	▲ 5	
	※1 経鼻エアウェイ		1			1	2	5	▲ 3	
	咽頭鏡・鉗子						0	0	0	
	ショックパンツ						0	0	0	
	血圧測定		2,309	205	569	967	4,050	3,836	214	
	聴診器による心音・呼吸音等聴取		326	36	18	26	406	507	▲ 101	
	血中酸素飽和度測定		2,416	210	583	1,011	4,220	2,480	1,740	
	心電図		1,666	77	217	451	2,411	2,406	5	
	特定 行為	静脈路確保	CPA前	10	2	1		13	11	2
			CPA後	44	1	6		51	49	2
※2 ラリングアルマスク等		9				9	8	1		
※3 気管挿管		17		3	1	21	27	▲ 6		
薬剤投与		アドレナリン	36	1	3		40	32	8	
		ブドウ糖	6				6	9	▲ 3	
血糖値測定		50				50	69	▲ 19		
その他の応急処置			2,379	204	587	990	4,160	3,984	176	
処置人員			2,493	216	607	1,026	4,342	4,129	213	
構成比			57.4	5.0	14.0	23.6	100.0			

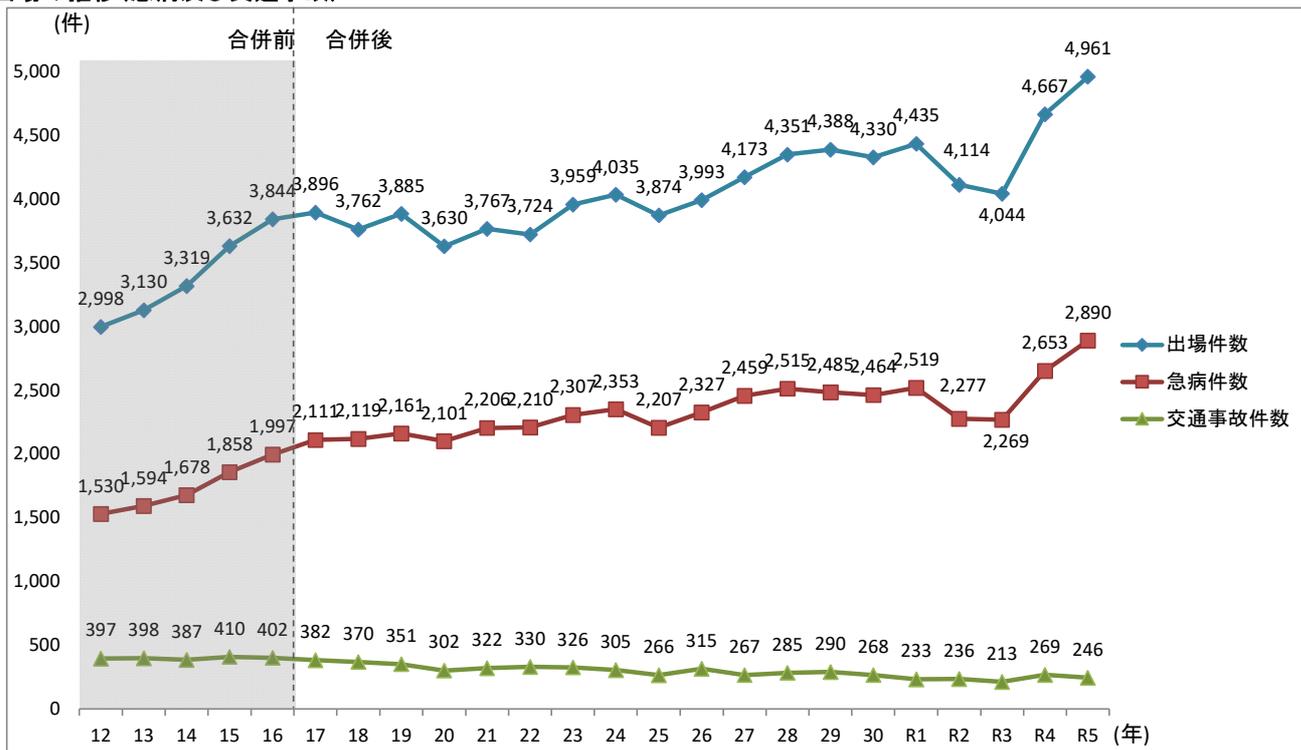
8. 不搬送原因別出場件数

令和5年1月1日～令和5年12月31日
(単位:件)

不搬送理由	辞退(到着前)	辞退(到着後)	拒否	明らかな死亡	他車(隊)搬送	傷病者なし	その他	計
出場件数	11	373	35	92	3	21	100	635

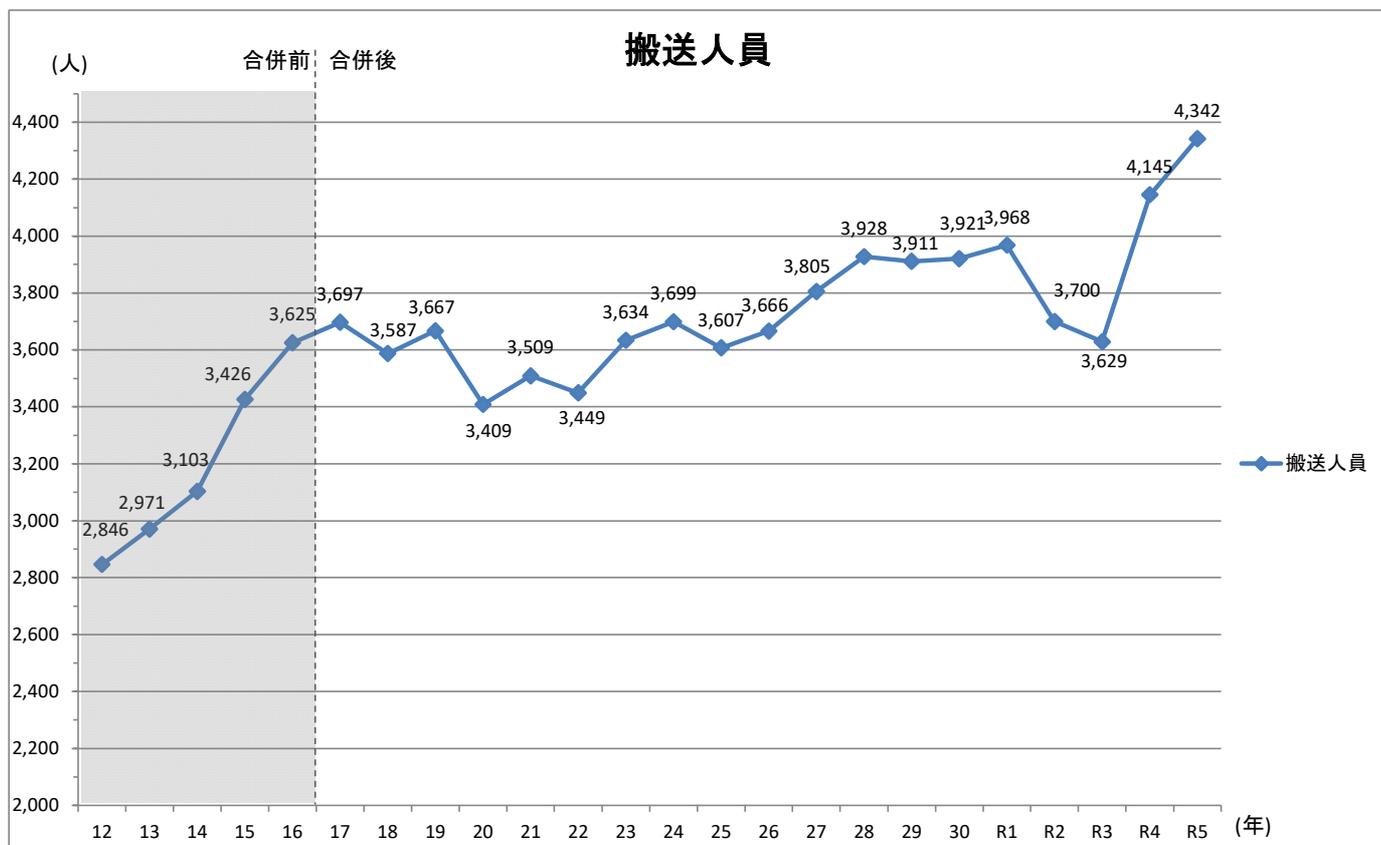
(その他には誤報、いたずらを含む)

9. 救急出場の推移(急病及び交通事故)



合併前の数値は、祁答院地区を除いたもの

10. 搬送人員の推移

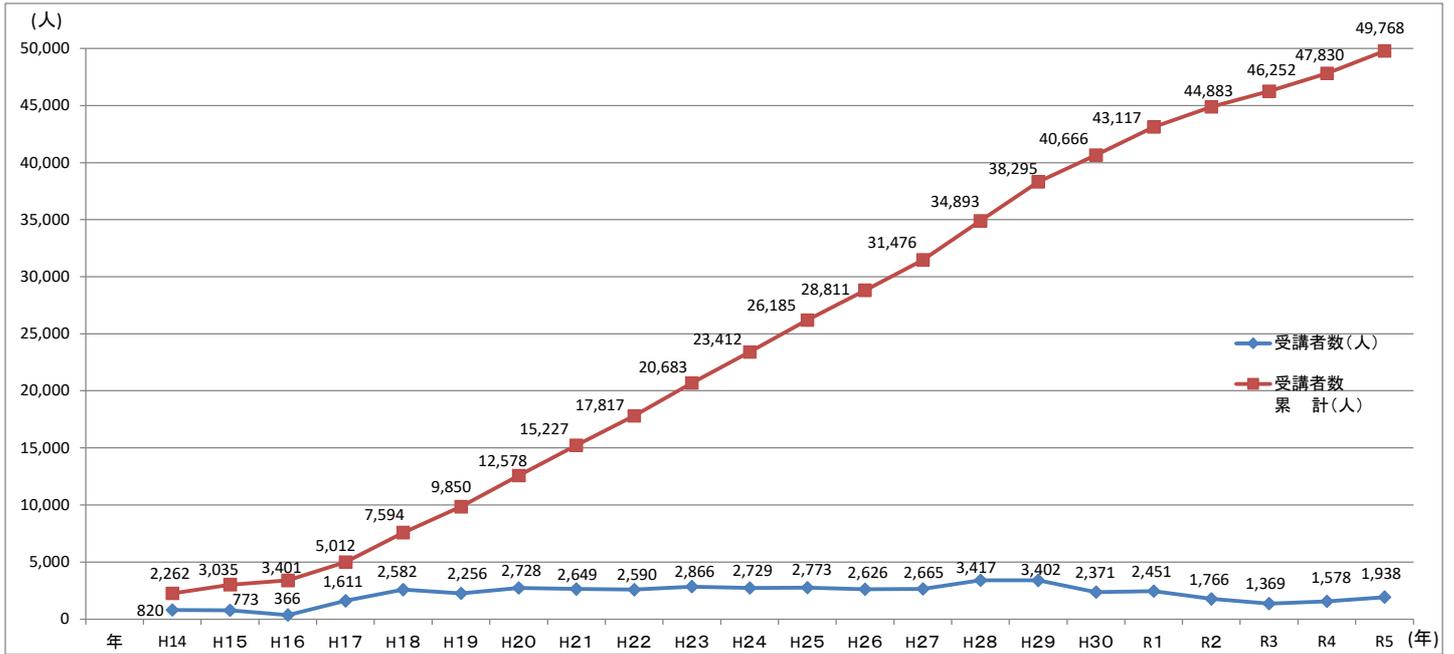


合併前の数値は、祁答院地区を除いたもの

11. 住民に対する応急手当普及啓発活動状況

年	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
実施回数	37	38	25	82	145	116	142	134	133	140	142	146	125	103	133	153	118	102	81	59	76	88
受講者数(人)	820	773	366	1,611	2,582	2,256	2,728	2,649	2,590	2,866	2,729	2,773	2,626	2,665	3,417	3,402	2,371	2,451	1,766	1,369	1,578	1,938
受講者数累計(人)	2,262	3,035	3,401	5,012	7,594	9,850	12,578	15,227	17,817	20,683	23,412	26,185	28,811	31,476	34,893	38,295	40,666	43,117	44,883	46,252	47,830	49,768
市民に占める受講割合	2.4%	3.2%	3.5%	5.2%	7.9%	10.3%	13.1%	15.9%	18.6%	21.5%	24.4%	27.3%	30.0%	32.8%	36.3%	39.9%	42.4%	44.9%	46.8%	48.2%	49.8%	51.8%

※ H17からAED(自動体外式除細動器)の取り扱いを含む講習を実施。



12. CPA患者社会復帰状況

年	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
CPA患者数(搬送者)	66人	98人	77人	78人	86人	110人	105人	71人	88人	88人	77人	83人	90人	77人	68人	63人	76人	83人
CPR口頭指導	16.7%	24.5%	41.6%	52.6%	37.2%	43.6%	66.7%	67.6%	65.9%	66.7%	90.4%	96.6%	93.3%	90.7%	82.9%	46%	46%	63%
バイスタンダーCPR	36.4%	42.9%	40.3%	46.2%	33.7%	38.2%	41.9%	36.6%	43.2%	51.1%	53.4%	66.1%	71.4%	69.7%	50.0%	70.0%	55.3%	52.7%
蘇生率	9.1%	17.3%	14.3%	12.8%	20.9%	19.1%	19.0%	19.7%	15.9%	23.9%	27.3%	12.5%	13.3%	6.4%	7.4%	25.4%	13.2%	16.9%
社会復帰者	2人	6人	6人	4人	2人	4人	3人	3人	0人	4人	1人	6人	5人	3人	3人	1人	1人	0人
社会復帰率	3.0%	6.1%	7.8%	5.1%	2.3%	3.6%	2.9%	4.2%	0.0%	4.5%	1.3%	7.2%	5.6%	3.9%	4.4%	1.5%	1.3%	0.0%

※CPA..... Cardio Pulmonary Arrest の略で、心肺停止のこと。
 ※CPR..... Cardio Pulmonary Resuscitation の略で、心肺蘇生法のこと。
 ※バイスタンダー..... 救急現場に居合わせた人(発見者、同伴者等)のこと。
 ※社会復帰..... 心肺停止により救急搬送された人が、回復して歩いて退院したこと。

13. 事故種別救助活動状況

令和5年1月1日～令和5年12月31日

事故種別 区分	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による 事故	建物等による 事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	合計
出場件数		18	2			2			4	26
活動件数		10	2			2			3	17
救助人員 (人)		10	1			2			1	14

※消防機関が救助活動を行なう目的で出場した件数

なお、火災の場合は消防機関が何らかの救助活動を行なった件数

14. 事故種別出場及び活動車両状況

令和5年1月1日～令和5年12月31日

事故種別 車両区分	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による 事故	建物等による 事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	合計
救助工作車		18	2			1			3	24
		4	2			1			2	9
消防ポンプ自動車		18	2			1			3	24
		10	2			1			1	14
はしご車及び 屈折はしご車										
指揮車及び 指令車		1								1
		1								1
救急自動車		21	2			2			4	29
		10	2			2			3	17
船舶										
その他		10							3	13
		4							1	5
消防団車両										
計		68	6			4			13	91
		29	6			4			7	46

・救助活動のために出場した車両等の台数

※上段 出動車両台数
下段 活動車両台数

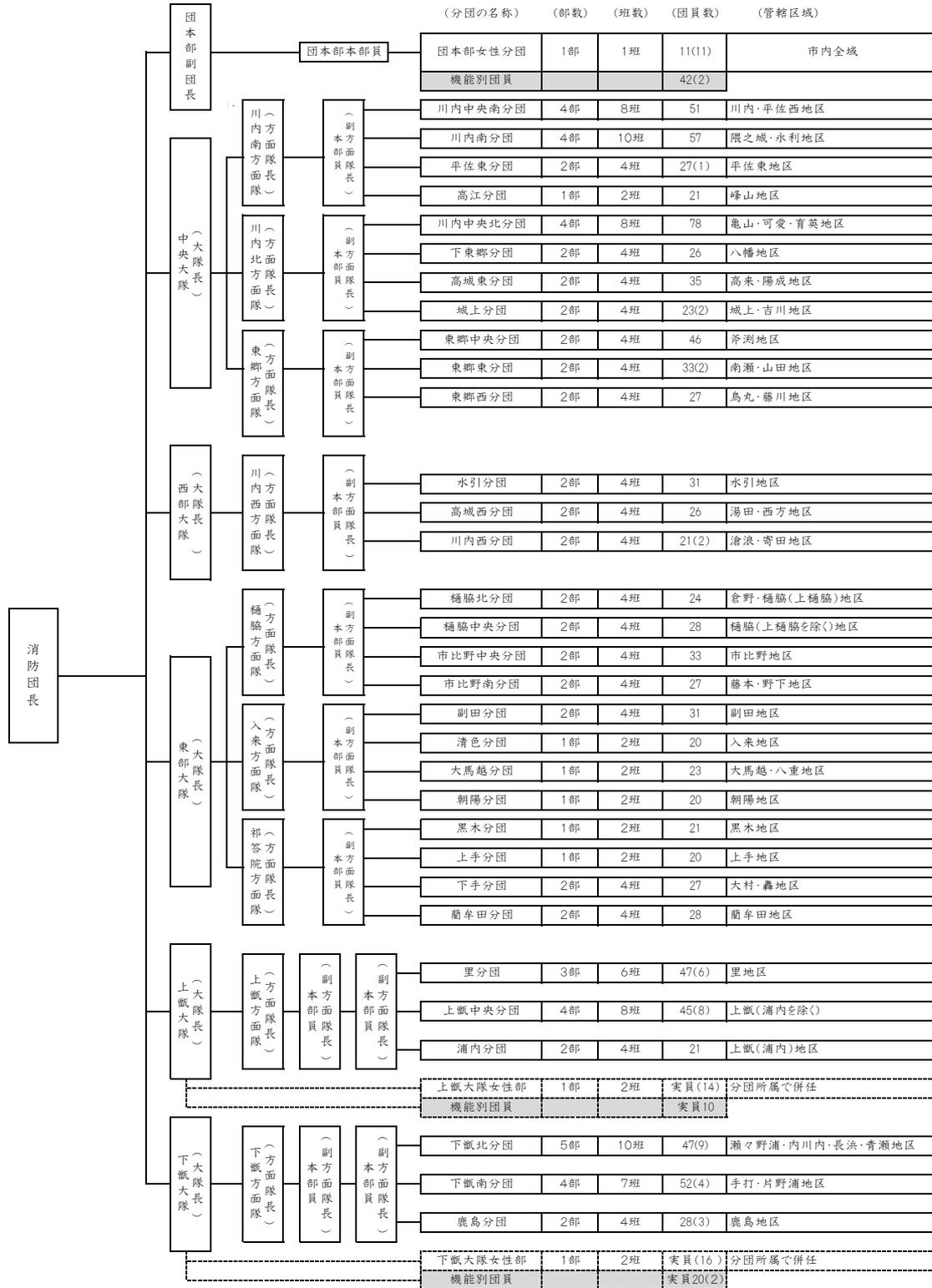
VI. 消防団及び 消防協力団体

1. 薩摩川内市消防団の組織

令和6年4月1日現在

薩摩川内市消防団は、消防局の中央消防署・西部消防署・東部消防署・上甕分駐所・下甕分駐所の管轄区域に合わせ、中央・西部・東部・上甕・下甕の5大隊とし、その下に9方面隊・32分団で組織。女性団員は、団本部に団本部女性分団を、上甕・下甕大隊には、分団所属の女性団員で構成する併任の大隊付き女性部を配置。分団合計、団本部女性分団含む33分団となっている。

また、団本部及び上甕・下甕大隊には避難所運営支援を主な任務として活動する機能別団員を配置している。



団長 1	副団長 6	方面隊長 9	本部長 12	分団長 33	部長 75	班長 150	団員 764	基本実員 1,083	男性団員 1,102
		【副団長級】	【分団長級】	副分団長 33				機能別実員 72	女性団員 53
			(団本部本部員 1)					実員 1,155	
			(副方面隊長 11)					定員 1,308	
								充足率 88.3%	

2. 消防団員定数及び実員

(単位:人)
令和6年4月1日現在

階級 区分	団 長	副団長		分団長		副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
		団本部副団長 大隊長	方面隊長	本部員	分団長					
定数	1	6	9	14	33	33	75	150	987	1,308
実員	1	6	9	12	33	33	75	150	836	1,155

※団員実員に機能別団員72人含む

3. 年齢別消防団員数

(単位:人)
令和6年4月1日現在

年齢 団員数	18歳以上 20歳未満	20歳以上 25歳未満	25歳以上 30歳未満	30歳以上 35歳未満	35歳以上 40歳未満	40歳以上 45歳未満	45歳以上 50歳未満	50歳以上 55歳未満	55歳以上 60歳未満	60歳以上	平均年齢
1,155 (53)	2 (0)	31 (2)	42 (5)	68 (1)	151 (7)	192 (10)	185 (8)	163 (7)	137 (3)	184 (10)	47.6 (45.5)

()は女性団員

4. 方面隊別消防団員数

(単位:人)
令和6年4月1日現在

方面隊別 区分	分 団 数	団員数 (人)	方面隊人口 (人)	世帯数 (世帯)	団員1人あたり 人口(人)
川 内 南 方 面 隊	4	156	38,495	18,816	247
川 内 北 方 面 隊	4	162	27,981	14,075	173
東 郷 方 面 隊	3	106	4,809	2,330	45
川 内 西 方 面 隊	3	78	3,569	2,155	46
樋 脇 方 面 隊	4	112	5,548	3,008	50
入 来 方 面 隊	4	94	4,051	2,204	43
祁 答 院 方 面 隊	4	96	2,921	1,542	30
上 甑 方 面 隊	3	113	1,884	1,163	17
下 甑 方 面 隊	3	127	1,736	1,183	14
合 計	32	1,044	90,994	46,476	87

5. 勤続年数別消防団員数

(単位:人)
令和6年4月1日現在

勤続年数 団員数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
1,155 (53)	139 (12)	210 (15)	201 (12)	188 (8)	167 (5)	129 (1)	121 0

()は女性団員

6. 消防団車両の概要

令和6年4月1日現在

番号	大隊	方面隊	分団名	部名	車 両 名	車 種	登 録 番 号	購 入 年 月	経過年数	ポンプ及び メーカー	備考		
1	団本部		団本部		団本部車	ニッサン	鹿児島 800 す 8429	H 30 . 2	6				
2					災害支援車	三菱	鹿児島 800 せ 2378	R 5 . 3	1				
3					予備積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 3864	H 17 .12	19		旧高城部		
4				女性分団		火災予防指導車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1857	H 27 .11	9		H29.3月 緊急車両へ改造	
5				西部大隊	団本部	大隊車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1853	H 29 . 3	7			
6				東部大隊	団本部	大隊車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1474	H 26 .11	10			
7				上甌大隊	団本部	大隊車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 2088	H 31 . 2	5			
8				下甌大隊	団本部	大隊車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1193	H 24 .12	12			
9						大隊車2	三菱	鹿児島 80 あ 1664	H 15 12	21			
10	中 央 大 隊		川内中央南	向田部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 せ 848	R 3 . 3	3	A-2 日本ドライケミカル			
11					宮里部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 5978	H 27 . 1	9			
12					中央一部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 618	H 19 .12	17	A-2 日本機械		
13					中央二部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 9273	H 31 . 2	5			
14			川内南	川内南	隈之城部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 せ 1467	R 3 .12	3	A-2 日本ドライケミカル		
15						中福良部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 5095	H 25 .11	11		
16						宮崎部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 6902	H 28 . 2	8		
17						永利部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 せ 1656	R 4 . 3	2		永利班
18				永利部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 9272	H 31 . 2	5		百次班		
19			平佐東	一部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 6234	H 15 .10	21				
20						二部	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 2089	H 31 . 2	5		
21			高江	高江部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 せ 2267	R 5 . 2	1	A-2 日本ドライケミカル			
22						大小路部	ポンプ車	トヨタ	鹿児島 800 せ 2310	R 5 . 3	1	A-2 モリタ	車両総重量3.5t未満
23			川内北	川内中央北	中郷部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 7752	H 29 . 3	7			
24						上川内部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 2908	R 6 1 0	0	A-2 モリタ	
25						亀山部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 2909	R 6 1 0	0	A-2 モリタ	
26						一部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 せ 814	R 3 . 2	3		
27				下東郷	二部	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1971	H 30 . 2	6			
28						高城部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 3027	R 6 3 0	0		
29				高城東	陽成部	積載車	ニッサン	鹿児島 800 せ 109	R 2 . 3	4			
30						城上	上城上部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 6904	H 28 . 2	8	
31		下城上部		積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 5098	H 25 .11	11					
32	東郷	東郷中央		一部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 2905	H 22 .12	14	A-2 日本ドライケミカル			
33				二部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 5099	H 25 .11	11				
34		東郷東	南瀬部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 7596	H 29 . 1	7	A-2 日本ドライケミカル				
35				山田部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 9257	H 31 . 2	5				
36		東郷西	鳥丸部	ポンプ車	いすゞ	鹿児島 800 せ 130	R 2 . 3	4	A-2 ナカムラ消防化学				
37			藤川部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 5977	H 27 . 1	9					
38	西 部 大 隊	水引	水引部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 せ 2213	R 5 . 1	1					
39				港部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 せ 2211	R 5 . 1	1				
40		高城西	西方部	ポンプ車	いすゞ	鹿児島 800 す 6763	H 27 .12	9	A-2 モリタ	総務省消防庁無償貸与			
41				湯田部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 せ 2212	R 5 . 1	1				
42		川内西	久見崎部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 5976	H 27 . 1	9					
43			寄田部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 7765	H 29 . 3	7					
44					ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 2090	H 31 . 2	5				

番号	大隊	方面隊	分団名	部名	車両名	車種	登録番号	購入年月	経過年数	ポンプ及びメーカー	備考	
45	東 部 大 隊	樋脇	樋脇北	倉野部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 6240	H 15 .10	21			
46				岩下部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 8486	H 30 . 3	6			
47			樋脇中央	塔之原部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 9235	H 31 . 2	5	A-2 日本ドライケミカル		
48				河内部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 6903	H 28 . 2	8			
49			市比野中央	市比野部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 2841	H 22 .11	14	A-2 GMいちはら		
50					積載車	ニッサン	鹿児島 800 せ 108	R 2 . 3	4			
51				上手部	積載車	トヨタ	鹿児島 880 す 9258	H 31 . 2	5			
52			市比野南	藤本部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 8478	H 30 . 3	6			
53				野下部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 5096	H 25 .11	11			
54			入来	副田	一部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 5079	H 25 .10	11	A-2 日本ドライケミカル	
55					二部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 8497	H 30 . 3	6		
56				清色	清色部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 407	H 19 . 9	17	A-2 吉谷機械	
57		大馬越		大馬越部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 8477	H 30 . 3	6			
58		朝陽		朝陽部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 7754	H 29 . 3	7			
59		祁答院	黒木	1部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 8652	H 17 .12	19	A-2 日本ドライケミカル		
60				上手	1部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 せ 2268	R 5 . 2	1	A-2 日本ドライケミカル	
61			下手	1部	ポンプ車	トヨタ	鹿児島 800 せ 763	R 3 . 2	3	A-2 モリタ	車両総重量3.5t未満	
62				2部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 せ 4	R 2 . 2	4			
63			蘭牟田	1部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 2028	H 21 .11	15	A-2 日本ドライケミカル		
64				2部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 せ 6	R 2 . 2	4			
65		上 甌 大 隊	里	北部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 せ 1657	R 4 . 3	2			
66				中部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 せ 1658	R 4 . 3	2			
67				南部	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1965	H 30 . 2	6			
68			上甌中央	中甌部	多機能型	いすゞ	鹿児島 800 す 2318	H 22 . 3	14	モリタ		
69	ミニ積載車				ダイハツ	鹿児島 880 あ 579	H 20 .12	16				
70	江石部			ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1191	H 24 .12	12				
71	平良部			ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1341	H 25 .11	11				
72	甌島振興局部			水槽付ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 9738	H 19 . 1	17	A-2 GMいちはら	水 1.5t		
73			ポンプ車	いすゞ	鹿児島 800 す 9267	H 31 . 2	5	A-2 日本ドライケミカル				
74	浦内		浦内部	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1846	H 29 . 3	7		小島		
75				ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1340	H 25 .11	11		瀬上		
76			桑之浦部	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1470	H 26 .11	10				
77	下 甌 大 隊	下甌北	長浜1部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 399	H 19 . 9	17	A-2 日本ドライケミカル			
78			長浜2部	多機能型	いすゞ	鹿児島 800 す 1289	H 20 .11	16	モリタ	日本消防協会寄贈		
79			長浜2部	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1931	H 29 .11	7		日本損害保険協会寄贈 内川内		
80			長浜3部	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1966	H 30 . 2	6				
81			青瀬部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 7751	H 29 . 3	7				
82				ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1847	H 29 . 3	7				
83			瀬々野浦部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 せ 812	R 3 . 2	3				
84				ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 2207	R 2 . 2	4				
85		下甌南	手打1部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 7479	H 16 .11	20	A-2 モリタ			
86			手打2部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 せ 813	R 3 . 2	3				
87			ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 2208	R 2 . 2	4		本町			
88			片野浦部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 す 5979	H 27 . 1	9		岡		
89			ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1845	H 29 . 3	7		浜田			
90			支所部	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 1473	H 26 .11	10				
91		鹿島	一部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 9609	H 18 .12	18	A-2 日本機械			
92			二部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 6423	H 15 .12	21				
93	ミニ積載車			ダイハツ	鹿児島 880 あ 1192	H 24 .12	12		小牟田			

7. 小型ポンプの概要

令和6年4月1日現在

番号	大隊	方面隊	分団	部	メーカー	購入年月	経過年数	型式	ポンプ等級	備考
1	団本部	団本部	団本部	団本部	トーハツ	H 30 .12	6	VF53AS	B-3級	
2	中央大隊	川内南	川内中央南	宮里部	シバウラ	R 2 .12	4	FF450AS	B-3級	
3			川内中央南	中央二部	ラビット	H 20 .8	16	Fi7000	B-3級	
4			川内南	中福良部	トーハツ	H 23 .12	13	VF53AS	B-3級	
5			川内南	宮崎部	シバウラ	H 28 .1	8	SF656AZI	B-3級	
6			川内南	永利部(永利)	シバウラ	H 28 .1	8	SF656AZI	B-3級	
7			川内南	永利部(百次)	シバウラ	H 28 .1	8	SF656AZI	B-3級	
8			平佐東	一部	トーハツ	R 5 .12	1	VF53BS	B-3級	
9			平佐東	二部	シバウラ	R 2 .12	4	FF450AS	B-3級	
10			高江	高江部	シバウラ	H 4 .12	32	TF-35	B-3級	
11		川内北	川内北	中郷部	シバウラ	H 28 .1	8	SF656AZI	B-3級	
12			下東郷	一部	トーハツ	H 30 .1	6	VF53AS	B-3級	
13			下東郷	二部	トーハツ	H 30 .1	6	VF53AS	B-3級	
14			高城東	高城部	シバウラ	R 2 .12	4	FF450AS	B-3級	
15			高城東	陽成部	トーハツ	R 3 .11	3	VF53AS	B-3級	
16			城上	上城上部	トーハツ	H 30 .12	6	VF53AS	B-3級	
17			城上	下城上部	シバウラ	H 28 .1	8	SF656AZI	B-3級	
18			東郷	東郷中央	二部	トーハツ	H 23 .12	13	VF53AS	B-3級
19		東郷東		南瀬部	トーハツ	H 11 .7	25	V46BS	B-3級	
20		東郷東		山田部	トーハツ	H 30 .12	6	VF53AS	B-3級	
21		東郷西		藤川部	トーハツ	H 26 .12	10	VF53AS	B-3級	
22		西部大隊	川内西	水引	水引部	トーハツ	H 30 .1	6	VF53AS	B-3級
23	水引			港部	トーハツ	R 3 .11	3	VF53AS	B-3級	
24	高城西			西方部	シバウラ	H 7 .9	29	TF-35	B-3級	
25	高城西			湯田部	シバウラ	H 29 .3	7	FF450	B-3級	
26	川内西			久見崎部	トーハツ	H 24 .12	12	VF53AS	B-3級	
27	川内西			寄田部	トーハツ	H 30 .12	6	VF53AS	B-3級	
28	川内西			寄田部	シバウラ	H 28 .1	8	SF656AZI	B-3級	
29	東部大隊	樋脇	樋脇北	倉野部	トーハツ	H 30 .12	6	VF53AS	B-3級	
30			樋脇北	倉野部	トーハツ	S 62 .9	33	V50C	B-3級	
31			樋脇北	岩下部	トーハツ	R 4 .12	2	VF53BS	B-3級	
32			樋脇中央	河内部	シバウラ	H 28 .1	8	SF656AZI	B-3級	
33			樋脇中央	河内部	ラビット	S 62 .3	33	P408R	B-3級	
34			市比野中央	市比野部	シバウラ	H 29 .3	7	FF450	B-3級	
35			市比野中央	上手部	トーハツ	H 23 .12	13	VF53AS	B-3級	
36			市比野中央	上手部	シバウラ	H 6 .11	30	SF655M	B-3級	
37			市比野南	藤本部	シバウラ	H 21 .12	15	SF656AZ	B-3級	
38			市比野南	藤本部	トーハツ	H 5 .12	31	V46AS	B-3級	
39			市比野南	野下部	ラビット	H 16 .8	20	P476A	B-3級	
40			市比野南	野下部	トーハツ	R 3 .11	3	VF53AS	B-3級	

番号	大隊	方面隊	分団	部	メーカー	購入年月	経過年数	型式	ポンプ等級	備考
41	東部大隊	入来	副田	二部	トーハツ	H 30 .1	6	VF53AS	B-3級	
42			大馬越	大馬越部	トーハツ	H 30 .1	6	VF53AS	B-3級	
43			朝陽	朝陽部	シバウラ	H 28 .1	8	SF656AZI	B-3級	
44		祁答院	黒木	1部	トーハツ	H 30 .12	6	VF53AS	B-3級	
45			上手	1部	シバウラ	H 29 .3	7	FF450	B-3級	
46			下手	2部	シバウラ	H 29 .3	7	FF450	B-3級	
47			藺牟田	2部	シバウラ	H 29 .3	7	FF450	B-3級	
48	上甌大隊	上甌	里	北部	トーハツ	H 29 .2	7	VF53AS	B-3級	
49			里	中部	トーハツ	H 24 .12	12	VF53AS	B-3級	
50			里	南部	トーハツ	H 30 .12	6	VF53AS	B-3級	
51			上甌中央	中甌部	ラビット	H 22 .3	14	Fi7000	B-3級	
52			上甌中央	中甌部	トーハツ	H 20 .12	16	VC62BS	B-3級	
53			上甌中央	江石部	トーハツ	H 24 .12	12	VF53AS	B-3級	
54			上甌中央	平良部	シバウラ	H 21 .12	15	SF656AZ	B-3級	
55			浦内	浦内部	シバウラ	H 21 .12	15	SF656AZ	B-3級	
56			浦内	浦内部	トーハツ	H 28 .1	8	VF53AS	B-3級	
57	浦内	桑之浦部	トーハツ	H 24 .12	12	VF53AS	B-3級			
60	下甌大隊	下甌	下甌大隊	下甌大隊	ラビット	H 15 .9	21	P455A	B-3級	旧鹿島支所部
59			下甌北	長浜2部	トーハツ	H 20 .11	16	VF53AS	B-3級	
60			下甌北	長浜2部(内川内)	トーハツ	H 28 .1	8	VF53AS	B-3級	
61			下甌北	長浜2部(内川内)	トーハツ	H 29 .11	7	VC72BS	B-3級	
62			下甌北	長浜3部	シバウラ	H 20 .9	16	SF756AZ	B-3級	
63			下甌北	青瀬部	シバウラ	H 25 .11	11	SF656AZi	B-3級	
64			下甌北	青瀬部	トーハツ	H 28 .1	8	VF53AS	B-3級	
65			下甌北	瀬々野浦部	トーハツ	H 28 .1	8	VF53AS	B-3級	
66			下甌北	瀬々野浦部	トーハツ	H 29 .2	7	VF53AS	B-3級	
67			下甌南	手打2部	トーハツ	H 29 .2	7	VF53AS	B-3級	
68			下甌南	手打2部	シバウラ	H 21 .12	15	SF656AZ	B-3級	
69			下甌南	片野浦部	トーハツ	H 23 .12	13	VF53AS	B-3級	
70			下甌南	片野浦部	トーハツ	H 28 .1	8	VF53AS	B-3級	
71			下甌南	支所部	トーハツ	H 28 .1	8	VF53AS	B-3級	
72			鹿島	二部	トーハツ	H 28 .1	8	VF53AS	B-3級	
73	鹿島	二部	シバウラ	R 5 .1	1	FF450	B-3級			

8. 消防協力団体

(1) 薩摩川内市危険物安全協会 (組織)

令和6年4月1日現在

会 長	副 会 長	評 議 員	監 事	顧 問	正 会 員	賛 助 会 員
1名	2名	13名	2名	1名	101事業所	41事業所

(事業)

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 消防思想の普及高揚と災害予防対策 <ol style="list-style-type: none"> (1) 災害事故例等参考資料の配布 (2) 法令改正等研修 (3) 危険物保全に関する啓発及び指導 (4) 先進地視察及び災害現場視察 (5) 自衛消防隊消火競技大会の実施 (6) 普通救命講習会の開催 (7) 接地抵抗計、訓練用消火器の貸出し | <ol style="list-style-type: none"> 2. 会員相互の親睦 3. 危険物取扱者及び事業所の表彰 4. 薩摩川内市管内危険物取扱事業所の本会への加入促進 5. その他本会の目的達成に必要な事業 |
|---|---|

(令和6年度予算)

歳入

(単位:円)

会 費	補 助 金	繰 越 金	雑 収 入	計
932,500	0	118,289	10,000	1,060,789

歳出

(単位:円)

会 議 費	事 業 費	事 務 費	県危協負担金	雑 費	予 備 費	計
200,000	285,000	466,000	101,000	3,000	5,789	1,060,789

(2) 薩摩川内市防火管理協会

(組織)

令和6年4月1日現在

会 長	副 会 長	役 員	監 事	顧 問	正 会 員	賛 助 会 員
1名	4名	19名	2名	1名	351事業所	14事業所

(事業)

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 防火管理者の育成及び消防(防火)思想の普及啓発 2. 防火管理者及び防災担当者の研修会、講習会等 3. 自衛消防隊消火競技大会の実施 4. 普通救命講習会の開催 5. 防火ポスター絵画の作品募集及び展示 | <ol style="list-style-type: none"> 6. 各種災害の予防対策の研究 7. 消防用設備の維持管理の指導及び保守点検 8. 協会だよりの発行 9. 優良会員事業所等の表彰 10. その他本会の目的達成上必要なこと |
|--|--|

(令和6年度予算)

歳入

(単位:円)

会 費	補 助 金	繰 越 金	雑 収 入	計
1,518,000	0	232,536	464	1,751,000

歳出

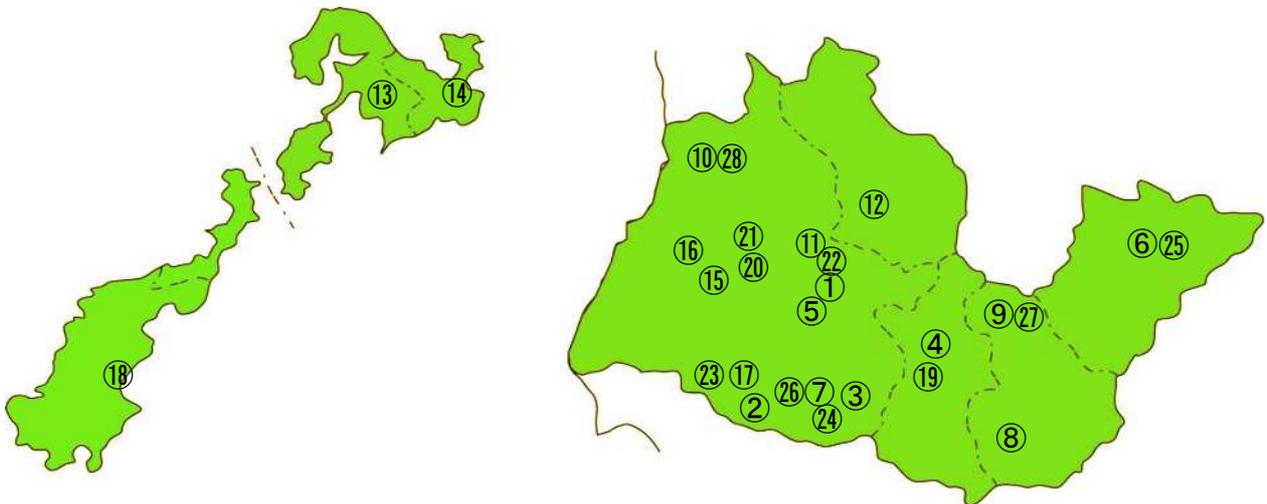
(単位:円)

会 議 費	事 業 費	事 務 費	雑 費	予 備 費	計
314,000	706,000	716,000	1,000	14,000	1,751,000

(3) 薩摩川内市防火クラブ

令和6年4月1日現在

番号	ク ラ ブ 名	結成年月日	人 員	所 在 地
1	平佐保育園幼年消防隊	S 58 . 4 . 30	19	平佐町3879番地3
2	青山幼稚園幼年消防隊	S 59 . 10 . 22	98	青山町4194番地
3	永利保育園幼年消防クラブ	S 59 . 11 . 1	57	百次町1069番地22
4	善福寺こども園幼年防火クラブ	S 59 . 11 . 1	25	樋脇町塔之原1177番地
5	せんだい幼稚園幼年消防隊	S 60 . 4 . 22	61	平佐町3590番地2
6	祁答院幼稚園幼年防火クラブ	S 60 . 10 . 1	0	祁答院町下手255番地
7	勝目保育園幼年消防隊	S 61 . 10 . 27	25	勝目町5315番地71
8	入来こども園幼年消防クラブ	S 61 . 11 . 15	24	入来町浦之名7517番地3
9	びぼあ幼年消防クラブ	H 11 . 4 . 1	38	入来町副田6046番地25
10	西風園幼年消防クラブ	H 11 . 4 . 2	4	西方町2605番地1
11	育英保育園幼年消防クラブ	H 11 . 12 . 1	73	中郷四丁目187番地
12	東郷幼稚園幼年消防クラブ	H 12 . 1 . 11	7	東郷町斧渕4773番地2
13	中津幼稚園幼年消防クラブ	H 13 . 5 . 21	14	上甌町中甌253番地
14	里幼稚園幼年消防クラブ	H 13 . 6 . 19	15	里町里1650番地1
15	高江こども園幼年消防クラブ	H 15 . 1 . 15	13	高江町1875番地
16	水引こども園幼年消防隊	H 15 . 8 . 1	35	水引町4795番地
17	青山保育園幼年消防クラブ	H 25 . 1 . 25	19	青山町3586番地4
18	かのこ幼稚園幼年消防クラブ	H 27 . 9 . 1	32	下甌町青瀬382番地
19	すわこども園幼年消防クラブ	H 29 . 10 . 1	39	樋脇町市比野550番地
20	亀山幼稚園幼年消防クラブ	H 30 . 9 . 1	14	五代町635番地
21	川内すわこども園幼年消防クラブ	R 2 . 4 . 27	120	御陵下町19番5号
22	川内すわこども園SECOND幼年消防クラブ	R 3 . 4 . 22	77	中郷三丁目327番地1
計			809 名	
23	青山少年消防クラブ	S 58 . 8 . 25	9	青山町4060番地9
24	川内精舎少年消防クラブ	H 11 . 5 . 1	13	百次町649番地1
計			22 名	
25	祁答院幼稚園女性防火クラブ	S 60 . 10 . 1	0	祁答院町下手255番地
26	勝目保育園女性消防クラブ	S 63 . 1 . 23	38	勝目町5315番地71
27	副田女性防火クラブ	H 9 . 5 . 1	11	入来町副田5857番地6
28	西方女性防火クラブ	H 12 . 2 . 1	15	西方町2413番地
計			64 名	
合計			895 名	

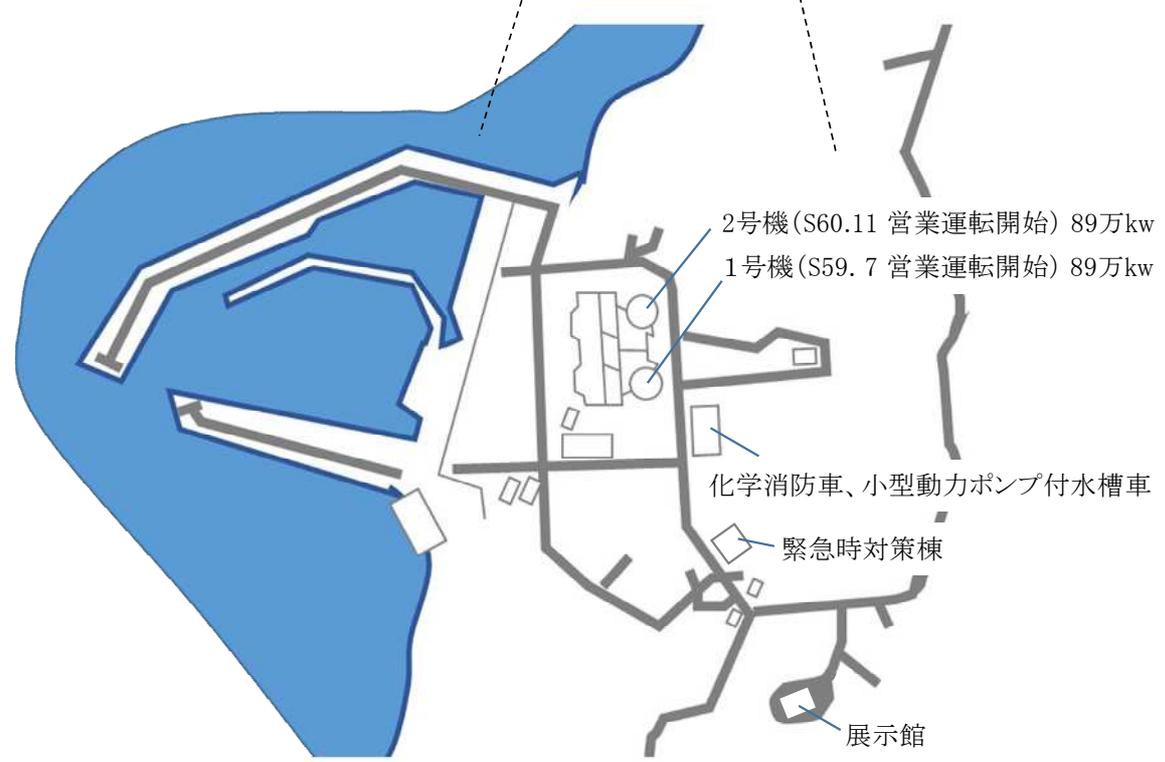
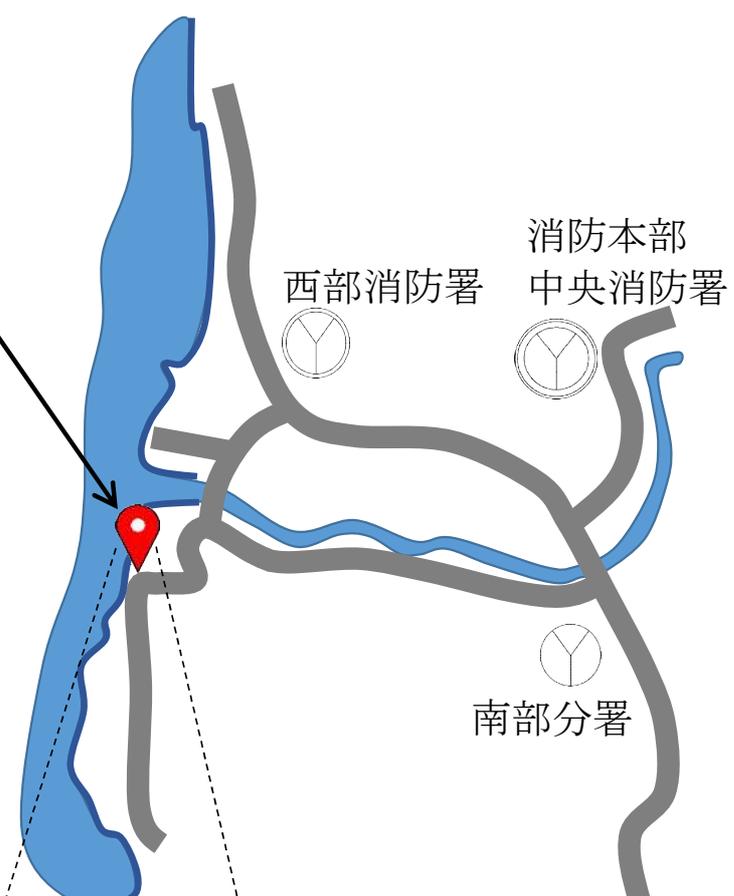


9. 特殊施設

九州電力(株) 川内原子力発電所

- 原子炉
低濃縮二酸化ウラン
軽水減速・軽水冷却加圧水型 2基

•総合出力	1,780,000 kw
1号機	890,000 kw
2号機	890,000 kw



付録

●消防本部・署の沿革(川内市消防本部)

年	月	日	概 要
昭和 26 年	4 月	1 日	消防本部を創設(初代消防長 近藤磨瑛雄(団長兼務)以下9人)
昭和 27 年	11 月	13 日	自動車ポンプを購入(消防長以下18人)
昭和 32 年	10 月	20 日	気象観測開始
昭和 33 年	1 月		自動車ポンプを購入(人口62,492人、職員27人、自動車ポンプ2台)
昭和 34 年	11 月	10 日	消防署を創設(近藤消防長、初代署長を兼務)
昭和 35 年	6 月	30 日	近藤消防長(署長)退任、第2代消防長に仮屋重夫市助役が消防長事務取扱として就任
昭和 36 年	3 月	1 日	第2代消防署長に須田清春就任
昭和 37 年	4 月	1 日	大小路分遣隊を新設(職員9人、自動車ポンプ1台)
	5 月	17 日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受ける
昭和 39 年	3 月	25 日	消防無線開設(基地1、移動3台)
昭和 41 年	12 月	15 日	須田清春署長が第3代消防長に、平瀬松次次席が第3代署長に就任
昭和 43 年	4 月	15 日	平瀬署長退任(須田消防長、第4代署長を兼務)
	5 月	1 日	救急業務開始(職員41人、自動車ポンプ4台、救急車1台)
昭和 45 年	12 月	28 日	須田消防長(署長)退任、児玉篤信市助役が第4代消防長事務取扱となる
昭和 46 年	1 月	9 日	平山武徳次席が第5代署長に就任
	7 月	7 日	平山武徳次長兼署長に就任
	9 月	30 日	児玉消防長事務取扱が退任、横山正元市長が第5代消防長事務取扱に就任
昭和 47 年	1 月	17 日	梯子車(24m)を購入(職員53人、自動車ポンプ3台、救急車1台)
昭和 48 年	9 月	1 日	川内信用金庫より救急車の寄贈を受ける
	9 月	18 日	鹿児島県共済農業協同組合連合会より救急車の寄贈を受ける
昭和 49 年	9 月	28 日	横山消防長事務取扱が退任、福壽十喜市長が第6代消防長事務取扱に就任
昭和 50 年	1 月	7 日	平山次長 署長の兼務を解き、浜田博之第6代署長に就任
	3 月	20 日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受ける
	6 月	23 日	平山次長退任
	11 月	3 日	日乃出屋より器具車の寄贈を受ける(職員54人、本部車1台、自動車ポンプ3台、梯子車1台、救急車2台、器具車1台)
	12 月	1 日	十島良郎次長に就任
昭和 53 年	4 月	1 日	川内市中郷町2023番地に新庁舎落成移転、同時に大小路分遣隊は市役所庁舎に移転、向田分遣隊と改称
	5 月	15 日	川内信用金庫より消防指揮車の寄贈を受ける
昭和 54 年	7 月	20 日	京都セラミックより救急車の寄贈を受ける
昭和 55 年	3 月	3 日	浜田署長退任、堀之内成夫第7代署長に就任
	11 月	20 日	十島次長退任、堀之内成夫次長兼署長に就任
	11 月	26 日	タイヨーより救急車の寄贈を受ける
昭和 56 年	1 月	20 日	堀之内次長兼務を解く
	1 月	26 日	福壽消防長事務取扱退任、山本孝一第7代消防長に就任

●消防本部・署の沿革(川内地区消防組合)

年	月	日	概 要
昭和 56 年	4 月	1 日	1市3町4村を構成員とする川内地区消防組合発足 条例定数 105人 実員 76人 管理者 福壽十喜 助役 仁礼国市 収入役 松永富男 初代消防長 山本孝一 向田分遣隊を中央消防署南部分署と改称
	7 月	15 日	川内地区消防組合紋章・組合旗の制定
	12 月	1 日	土地区画整理事業により、消防本部・署の所在地町名地番変更 (川内市原田町185番地)
昭和 57 年	2 月	10 日	日本自動車工業会より救急車の寄贈を受ける
	2 月	24 日	中央消防署上甌・下甌分駐所庁舎及び消防吏員待機宿舍完成
	3 月	31 日	救急指令装置をB型電子式に整備・無線局寺山公園中継局設置 中央消防署上甌・下甌分駐所開所 各所に職員6人・救急車1台配備
昭和 58 年	1 月	28 日	中央消防署車庫新築(鉄骨スレート葺 32㎡)
	3 月	11 日	鹿児島県共済農業協同組合連合会より救急車の寄贈を受ける
	3 月	18 日	東部消防署庁舎完成(入来町浦之名727番地2)
	3 月	19 日	日本損害保険協会より救急車の寄贈を受ける
	4 月	1 日	東部消防署開署(職員11人、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、指揮車1台配備)
	10 月	1 日	東部消防署に職員6人を増置、17人とする。 ユーアガス鹿児島・南日本ガスより指令車の寄贈を受ける
	11 月	1 日	川内信用金庫より救急車の寄贈を受ける
昭和 59 年	1 月	26 日	管理者 福壽十喜 急逝
	3 月	12 日	仁礼国市第2代管理者に就任
	3 月	26 日	西部消防署庁舎完成(川内市水引町3397番地2)
	4 月	1 日	西部消防署開署(職員13人、大型高所放水車1台、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、指揮車1台配備)
	7 月	1 日	萩迫良和第2代助役に就任
	8 月	28 日	日本消防協会より電源照明用資機材搬送車の寄贈を受ける
	10 月	1 日	西部消防署に職員4人を増置。17人とする
	11 月	1 日	中央消防署通信指令室にファクシミリ設置
昭和 60 年	2 月	27 日	中央消防署倉庫新築(鉄骨スレート葺 2階建 延面積64㎡)
	2 月	28 日	寺山無線中継局に遠方監視装置増設
	4 月	1 日	条例定数改正 119人 実員 108人
昭和 60年	12 月	3 日	三井液化ガスより指揮車の寄贈を受ける
	12 月	25 日	救急業務用地図等検索装置(光ディスク方式)購入
昭和 61 年	4 月	1 日	消防本部警防課に通信指令係を新設(職員3人)
	4 月	18 日	消防組合発足5周年記念式典を挙行

年	月	概 要
昭和 61 年	8 月 11 日	山本消防長退任(萩迫助役が消防長事務取扱兼務)
	10 月 1 日	野田泰宏第2代消防長に就任
昭和 62 年	3 月 28 日	消防本部、中央消防署庁舎増築・模様替工事(2階部分261㎡増築) 中央消防署車庫新築(鉄骨スレート葺73.95㎡)
	12 月 7 日	福崎勇夫氏(川内市)より救急車の寄贈を受ける
	12 月 15 日	救助工作車及び救助資機材一式を購入、中央消防署に配備
昭和 63 年	3 月 9 日	消防庁長官表彰(表彰旗)
	6 月 30 日	松永収入役退任
	9 月 6 日	森 卓朗第2代収入役に就任
	12 月	市町村負担金分賦割合の変更につき関係市町村と協議 全市町村議会議決
平成 元年	1 月 30 日	だいわより救急車の寄贈を受ける(川内市へ)
	2 月 2 日	東部消防署車庫を新築(鉄骨スレート葺17.92㎡)
	3 月 4 日	市町村負担金分賦割合の変更許可(県知事)
	12 月 5 日	日本防火協会より防火広報車の寄贈を受ける
平成 2 年	3 月 31 日	野田消防長退任
	4 月 1 日	内田耕也第3代消防長に就任
	6 月 16 日	堀ストアより救急車の寄贈を受ける(川内市へ)
	10 月 24 日	南日本開発より梯子車(35m)の寄贈を受ける(川内市へ)
平成 3 年	4 月 7 日	川内ライオンズクラブより救急車の寄贈を受ける
	8 月 4 日	消防組合発足10周年記念式典を挙(第9回消防フェスティバル同時開催)
平成 4 年	3 月 2 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局の貸与を受ける(5w15基)
	3 月 26 日	中央消防署南部分署新庁舎完成(川内市若松町8番20号)
	8 月	中央・東部・西部各消防署で消防フェスタ開催
	9 月 1 日	日本消防協会より救急車の寄贈を受ける
	10 月 1 日	中央消防署南部分署に職員4人を増置、13人とする
平成 5 年	11 月 1 日	大型高所放水車を西部消防署から中央消防署南部分署に配置転換
	3 月 20 日	中央消防署南部分署に訓練塔建設
	3 月 16 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局(5w10基)及び救助資機材等(空気呼吸器5基他)の貸与を受ける
	3 月 27 日	サンテックより小型船舶(1.5t)の寄贈を受ける
	9 月 20 日	市町村負担金分賦割合に関する組合規約変更届出(平成6年度負担金から適用)
平成 6 年	2 月 15 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局(10w2基、5w6基)及び救助資機材等(空気呼吸器5基他)の貸与を受ける
	4 月 1 日	通信指令室に河川情報等受信用端末機を設置

年	月	日	概	要
平成 6 年	5 月	18 日	救急救命士誕生、11月に2人となる	
平成 7 年	1 月	24 日	阪神淡路大震災被災地へ職員5人、車両2台を派遣	～28日
	3 月	31 日	内田消防長退任	
	4 月	1 日	山口 傳第4代消防長に就任(昇任)	
			条例定数改正 128人 実員123人	
			川内市のコンピュータ(サーバ)と電話回線により接続された端末機を消防本部総務課に設置、財務会計のオンライン処理開始	
	5 月	19 日	救急救命士3人となる	
	7 月	27 日	日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受ける	
	8 月	21 日	第1回応急手当普及員講習会を実施(29人認定)～23日	
	8 月	25 日	森収入役退任	
	8 月	29 日	日本消防協会より救急車の寄贈を受ける	
	8 月	31 日	萩迫助役退任	
	10 月	1 日	救急救命士の院内研修を川内市医師会立市民病院で実施(10月2人、11月2人)	
	11 月	22 日	救急救命士4人となる	
平成 8 年	1 月	18 日	高規格救急車及び高度救命処置用資機材を購入、中央消防署に配備	
	3 月	10 日	仁礼管理者退任	
	3 月	11 日	森 卓朗第3代管理者に就任	
	3 月	15 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局(10w2基、5w3基)の貸与を受ける	
	4 月	1 日	富山新八第3代助役に就任	
			若松隆久第3代収入役に就任	
			高規格救急車等による高度救急業務を開始	
			消防本部警防課の通信指令係を第1通信指令係及び第2通信指令係とする	
	4 月	9 日	コアガスグループより指令車の寄贈を受ける	
	8 月	20 日	第2回応急手当普及員講習会を実施(29人認定)～22日	
	10 月	22 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(熊本県菊池郡)	
	12 月	2 日	救急救命士5人となる	
平成 9 年	3 月	26 日	鹿児島県北西部地震 M6.2 震度5強	
	3 月	31 日	山口消防長退任	
	4 月	1 日	岩切秀雄第5代消防長に就任	
	4 月	4 日	カコイエレクトロより連絡車(ベスト電器号)の寄贈を受ける	
	5 月	12 日	救急救命士6人となる	
	5 月	13 日	鹿児島県北西部地震 M6.2 震度6弱	
	7 月	10 日	鹿児島県消防相互応援協定に基づき出水市針原地区の土石流災害現場へ職員15人、車両3台を派遣	～11日

年	月	概	要	
平成 9 年	8 月 20 日	日本宝くじ協会より消火・通報訓練指導車(けすづくん)の寄贈を受ける		
	10 月 7 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(福岡市)～8日		
	11 月	救急救命士7人となる		
平成 10	3 月 7 日	自治体消防制度50周年		
	3 月 10 日	代表電話番号の変更 0996-22-0119		
	4 月 1 日	緊急通信指令施設(Ⅱ型)稼働 携帯電話等からの119番通報受信開始 女性消防吏員1人採用		
	4 月 22 日	中央消防署梯子車(35m)分解整備(オーバーホール)～9月30日		
	5 月 1 日	川内地区消防組合潜水隊編成(7人)		
	5 月 12 日	救急救命士8人となる		
	11 月 19 日	川内ライオネスクラブより予防指導車(川内ライオネスクラブ号)の寄贈を受ける		
	11 月 25 日	救急救命士9人となる		
	平成 11 年	2 月 24 日	東部消防署 高規格救急車等による高度救急業務を開始	
		3 月 5 日	市町村負担金の支弁方法の改正に伴う県知事への組合規約変更届(平成11年度から適用)	
4 月 1 日		消防本部に予防課を新設し3課7係となる 職員実数128となる		
4 月 9 日		消防行政相談日並びに普通救命講習会開催(以降毎月9日に定期的に実施)		
5 月 11 日		救急救命士10人となる		
5 月 20 日		第83回全国消防長会法制委員会を樋脇町で開催 ～21日		
10 月 19 日		緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(長崎市)～20日		
11 月 10 日		救急救命士11人となる		
平成 12 年		2 月 1 日	消防本部及び消防署の住居表示変更 原田町22番10号	
		3 月 17 日	上・下甌分駐所消防職員待機宿舎を上・下甌に1棟ずつ新築し、合わせて6世帯確保となる	
	3 月 31 日	富山助役退任 岩切消防長退任		
	4 月 1 日	岩切秀雄第4代助役に就任 春田廣士第6代消防長に就任		
		原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から(エアータント一式、発電機等8基、防護服等50着)の貸与を受ける		
	4 月 18 日	南部分署大型高所放水車分解整備(オーバーホール)～9月30日		
	5 月 9 日	救急救命士12人となる		
	10 月 23 日	緊急消防援助隊全国合同訓練参加(東京都江東区)～24日		

年	月	日	概 要
平成 12 年	10 月	29 日	川内ライオンズクラブ(35周年記念事業)から指揮広報車(川内ライオンズ号)の寄贈を受ける
	11 月	1 日	救急救命士13人となる
平成 13 年	3 月	23 日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局(5w5基)の貸与を受ける
	10 月	2 日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(佐賀市)～3日 消防組合20周年記念式典を挙(百次町、屋内研修訓練体育施設にて) 外菌運輸機工より消防指揮車の寄贈を受ける
平成 14 年	3 月	31 日	春田消防長転任
	4 月	1 日	伊豫田輝雄第7代消防長に就任
	5 月	13 日	救急救命士14人となる
	5 月	29 日	宝山実業より救急車(赤玉号)の寄贈を受ける
	6 月	28 日	おおとり荘より小型貨物自動車の寄贈を受ける
平成 16 年	10 月	8 日	川内地区消防組合(昭和56年4月1日発足)解散式を挙(中央消防署車庫にて)